Recycled Paper

MITSUBISHI ELECTRIC

R410A対応

冷媒回路内にほこり、ゴミ、水分等が混入しないよう、従来以上に冷媒配管工事に注意してください。

IT装置用空調機
室内ユニット

形名
PADY-P450NMT-E

室外ユニット

形名
PVDY-P450NM-E（標準仕様）
PVDY-P450NM-E-BS（耐塩害仕様）
PVDY-P450NM-E-BSG（耐重塩害仕様）

取扱説明書

もくじ

ページ
安全のために必ず守ること ……2
1．各部の名称 ……5
2．設定のしかた ……7
3．試運転 ……26
4．お手入れのしかた ……28
5．サービスをお申しつけの前に ……31
6．仕様 ……45
7．保証とアフターサービス ……47

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
●お読みになったあとは、『据付説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
●保証書は、『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
●お使いになる方が変わる場合、本書と『据付工事説明書』『保証書』をお渡しください。
●お客さまご自身では、据付け・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）

フロン排出抑制法　第一種特定製品

1)フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
2)この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
3)冷媒の種類及びGWP（地球温暖化係数）は室内ユニットの定格銘板に記載されています。
　冷媒の数量は室内ユニットの機器設置状況銘板あるいは冷媒量記入ラベルに記載されています。
4)冷媒を追加充填した場合やサービスで冷媒を入れ替えた場合には室内ユニットの冷媒量
　記入ラベルに必要事項を必ず記入してください。

フロンの見える化

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害、損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般禁止）

（接触禁止）

（水ぬれ禁止）

（ぬれ手禁止）

（一般注意）

（感電注意）

（高温注意）

（回転物注意）

（一般指示）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、この本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

⚠ 警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- 法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。

指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。

禁止

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- 吹出し風を身体に直接当てた場合、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。

使用禁止

冷やし過ぎないこと。

- 冷やし過ぎた場合、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。

使用禁止

特殊環境では、使用しないこと。

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- 燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。

使用禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- 圧力開閉器・温度開閉器などの保護装置を短絡して強制的に運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。

変更禁止

水・液体で洗わないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

フィルター清浄・交換など高所作業時は足元に注意すること。

- 落下・転倒し、けがのおそれあり。

足元注意

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。

感電注意

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- 冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

やけど注意

換気をよくすること。

- 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。

換気を実行

換気をよくすること。

- 燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。

換気を実行

ヒューズ交換の場合、指定容量のヒューズを使用すること。

- 指定容量外のヒューズ・針金・銅線を使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。

指示を実行

異常時（こげ臭いなど）や不具合が発生した場合、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行

基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。

- ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。

指示を実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。

指示を実行

⚠注意

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。

使用禁止

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

使用禁止

ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。

- ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。

使用禁止

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- 保存品が品質低下するおそれあり。

使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。

- 悪影響のおそれあり。

使用禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- 運転停止から５分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。

禁止

ぬれて困るものを下に置かないこと。

- ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。

据付禁止

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。

接触禁止

水の入った容器を製品などの上に載せないこと。

- 水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ホコリが目に入り、けがのおそれあり。

ホコリ注意

保護具を身に付けて作業すること。

- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

けが注意

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

- ファンによるけがのおそれあり。

回転物注意

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- けがのおそれあり。

指示を実行

販売店または専門業者が定期的に点検すること。

- ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまった場合、ドレン排水経路が詰まり、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。
- においが発生するおそれあり。

指示を実行

据付工事をするときに

⚠ 警告

改造はしないこと。据付工事は販売店または専門業者が据付工事説明書に従って据付工事を行うこと。

- 水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

配管工事をするときに

⚠ 注意

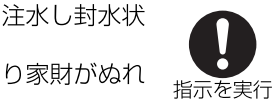
ドレン水が排水できることを確認すること。

- 不備がある場合、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。

指示を実行

ドレントラップの封水をすること。

- 定期点検時に、トラップ内に注水し封水状態を確認すること。
- 不備がある場合、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。


指示を実行

移設・修理をするときに

⚠ 警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

お願い

運転を開始する 12 時間以上前に電源を入れてください。

- シーズン中は電源を切らないこと。故障のおそれあり。

ユニット内の冷媒は回収し、規定に従って廃棄してください。

- 法律（フロン排出抑制法）によって罰せられます。

ユニットの使用温度･湿度範囲を守ってください。

- 範囲外で使用した場合、故障のおそれあり。

吹出口・吸込口を塞がないでください。

- 風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれあり。

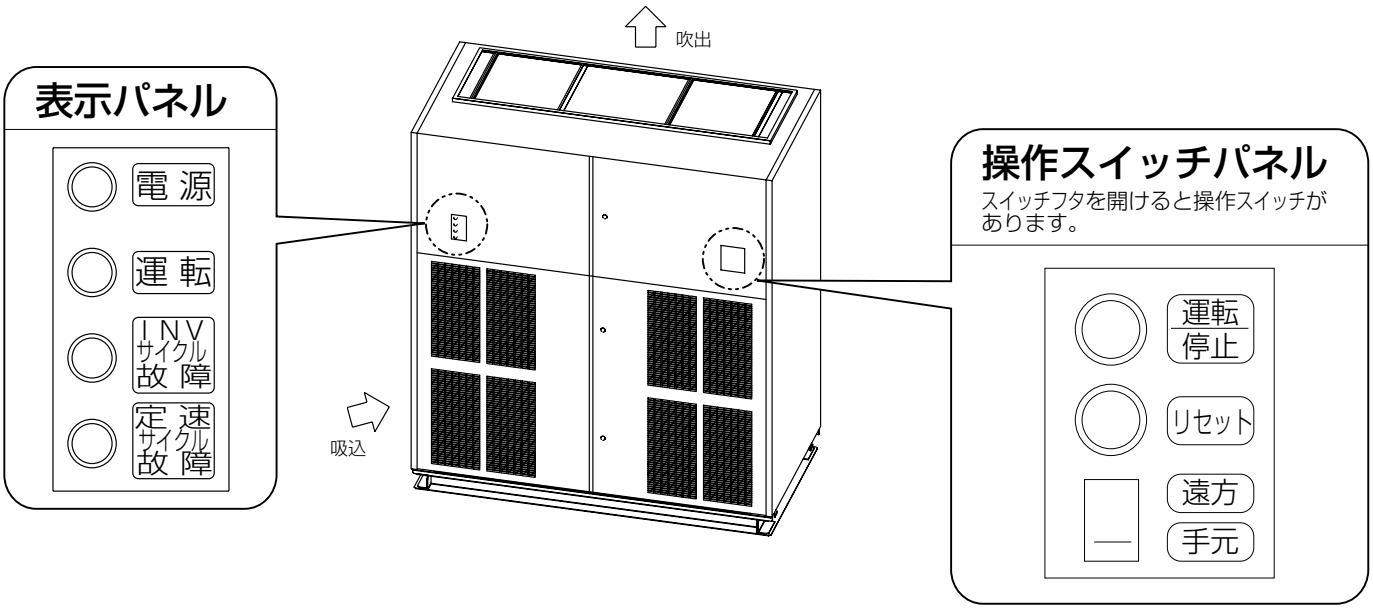
エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

- ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

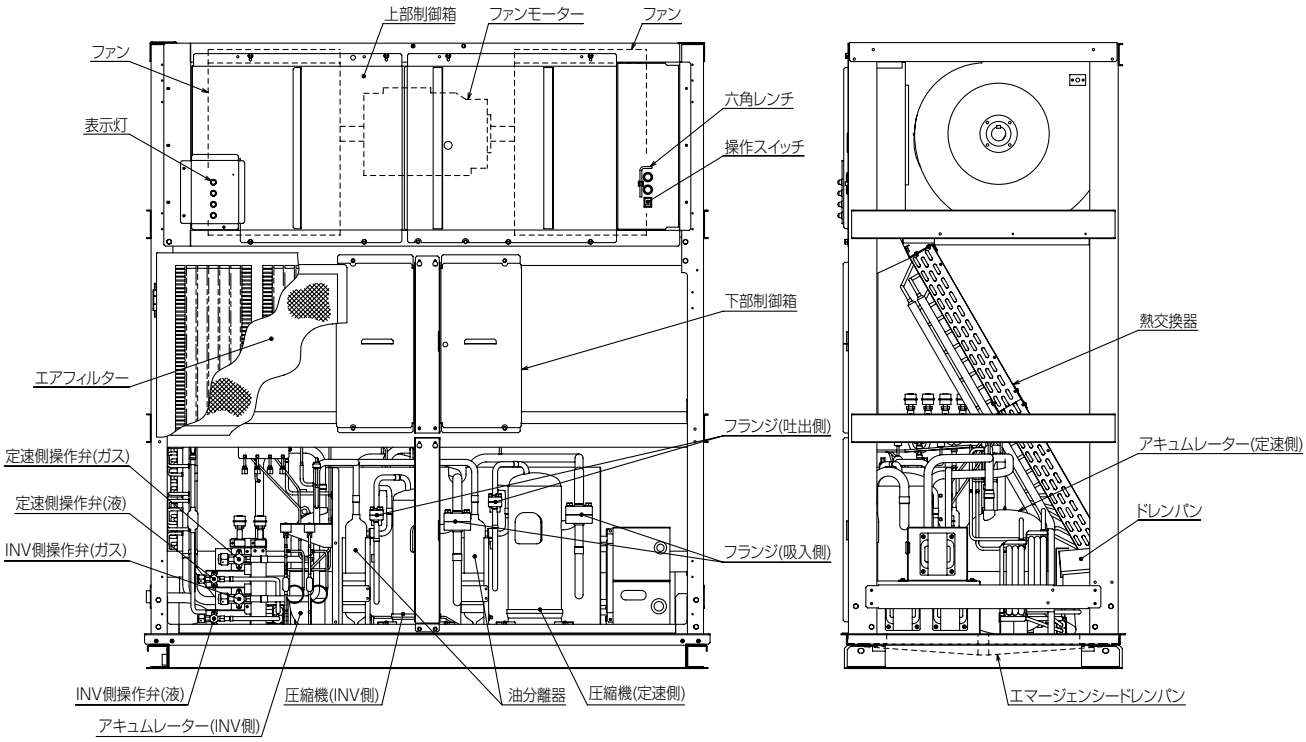
1．各部の名称

1．室内ユニット

【外観】

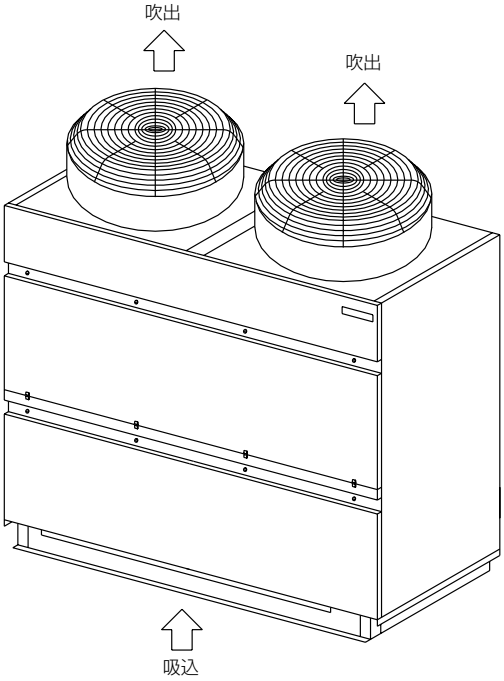


【内部構造図】

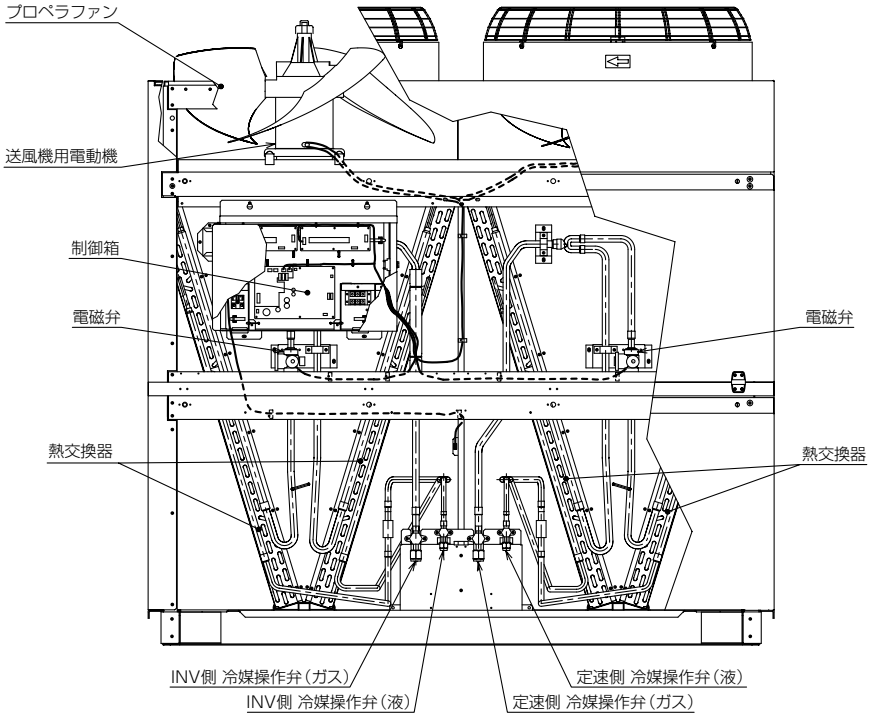


2．室外ユニット

【外観】



【内部構造図】



2．設定のしかた

1．試運転の前に

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- 冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

やけど注意

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

使用禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- 運転停止から５分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。

禁止

お願い：

運転を開始する 12 時間以上前に電源を入れてください。

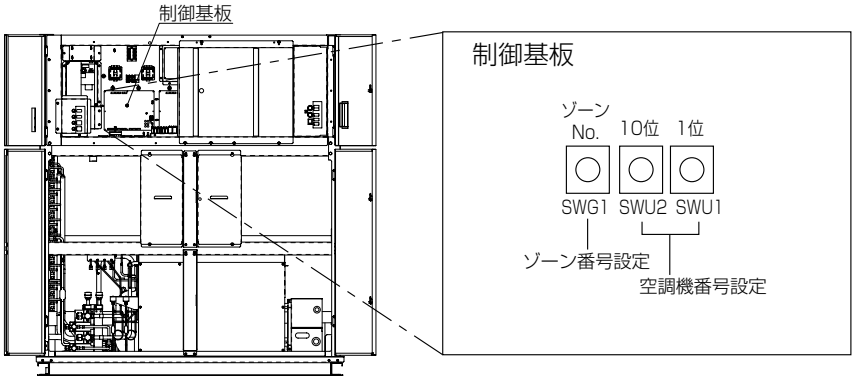
- シーズン中は電源を切らないこと。故障のおそれあり。

エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

- ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

■室内ユニットの初期設定

制御基板上のロータリースイッチにより、操作パネルまたはAGCUと通信を行うための空調機番号およびゾーン番号を設定します。



【注意】

スイッチを操作するときは、空調機の電源投入前に行ってください。運転状態では、設定内容が操作前と変わらず、正常に動作しません。

【空調機番号の設定】

空調機番号はSWU1とSWU2にて、１～20の範囲で設定します。

【ゾーン番号の設定】

ゾーン番号はSWG1にて1～5の範囲で設定します。

ゾーン番号	ゾーンNO. SWG1
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5

空調機番号	10位 SWU2	1位 SWU1
1	0	1
2	0	2
3	0	3
4	0	4
5	0	5
6	0	6
7	0	7
8	0	8
9	0	9
10	1	0
11	1	1
12	1	2
13	1	3
14	1	4
15	1	5
16	1	6
17	1	7
18	1	8
19	1	9
20	2	0

■室外ユニット確認

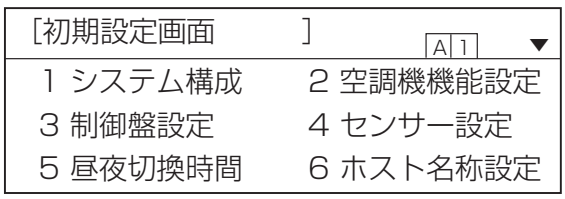
電源スイッチが入っているか確認ください。

■制御盤の操作パネル初期設定

電源が投入されることで操作パネルに「イニシャライズ中」が表示され、数分後に「初期設定画面」のメニュー画面が表示されます。故障発生時は、故障画面が表示されていますので、表示されているチェックポイントを確認してください。
下記初期設定手順に従って、各設定を行ってください。

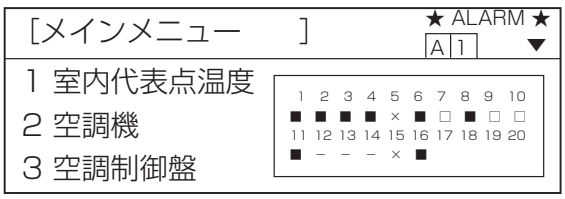
（注意）
既にシステム設定を行ってある場合は、「イニシャライズ中」表示後「メインメニュー」画面が表示されます。
この場合、▲キー、▼キー、およびENTキーを同時に押しますと初期設定画面のメニューが表示されます。

初期設定メニュー画面

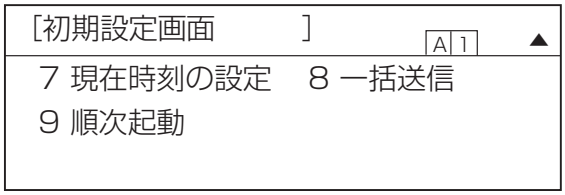


システム初期立上げ時は本画面が表示されます。

メインメニュー画面



既に立ち上げられたシステムでは本画面で立ち上がります。



[初期設定手順]

各設定を行うときの基本操作は以下のとおりです。以下の操作を行って、各設定を変更します。

①変更したい項目にカーソルキー（◀ キー、▶ キー）でカーソルを移動させる。
②ENTキーを押して、点灯（確定状態）表示から点滅（変更状態）表示にする。
③カーソルキー（▲キー、▼キー）で設定値を変更する。
④ENTキーを押して設定する。（点滅表示から点灯表示になる）

次に示す手順に従って各設定を行ってください。

（1）システム構成を設定

・初期設定メニュー画面にてカーソルを「1 システム構成」に合わせ、ENTキーを押す。
・AGCU台数（0もしくは1）、操作パネル台数（1もしくは2）、各ブレーカー番号に対応した空調機アドレスを設定します。
各制御盤に搭載されているブレーカーの番号は下表のようになっています。
各ブレーカーには任意の空調機アドレスを設定可能です。（範囲1～20）
未使用ブレーカーには「--」を設定してください。
・本設定後にR407Cタイプ空調機（画面上表記はⅣ）とR410Aタイプ空調機（画面上表記はⅤ）との自動識別を行い、識別処理を実施した後は「空調アドレス」の欄に機種判別結果ⅣもしくはⅤを表示します。
・初期設定デフォルト値は下記のとおりとなります。
AGCU：0台、操作パネル1台、空調アドレス：PAC1～PAC20=「--」

制御盤	ブレーカー番号
基本ユニット	PAC1～PAC4
動力ユニット1	PAC5～PAC8
動力ユニット2	PAC9～PAC12
動力ユニット3	PAC13～PAC16
動力ユニット4	PAC17～PAC20

［システム構成　　］			1
	AGCU	液晶コンパネ	空調アドレス
	0　ダイ	1　ダイ	PAC1　1　Ⅳ PAC2　2　Ⅳ PAC3　3　Ⅳ PAC4　１６　Ⅴ

基本ユニットのブレーカーPAC1に、アドレス1の空調機を接続する設定

［システム構成　　］			1
	空調アドレス	空調アドレス	空調アドレス
	PAC5　−− PAC6　−− PAC7　7　Ⅴ PAC8　5　Ⅴ	PAC9　9 PAC10　１０ PAC11　−− PAC12　4	PAC13　−− PAC14　−− PAC15　−− PAC16　−−

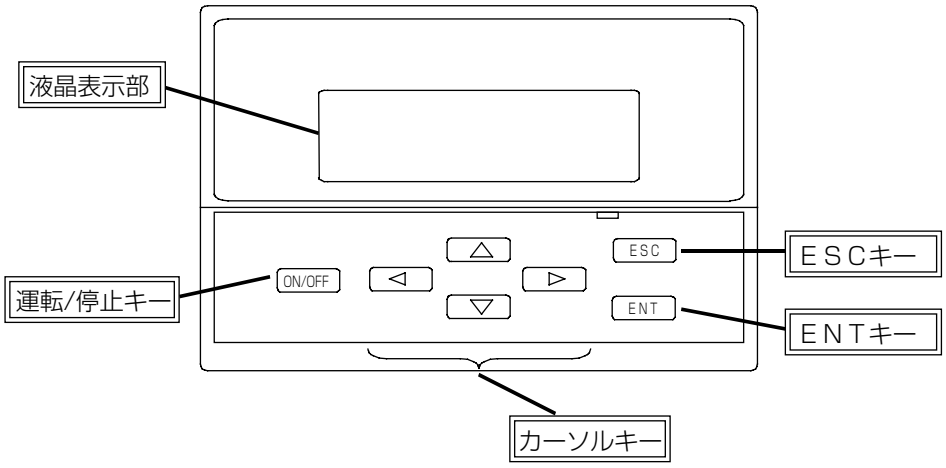
未使用ブレーカー

動力ユニット1のブレーカーPAC8に、アドレス5の空調機を接続する設定

［システム構成　　］			1
	空調アドレス	空調アドレス	空調アドレス
	PAC17　−− PAC18　−− PAC19　−− PAC20　２０		

動力ユニット4のブレーカーPAC20に、アドレス20の空調機を接続する設定

（注意）
・AGCUの台数は必ず「1」に設定してください。
・増設用操作パネルが接続されている場合、操作パネル台数は「2」に設定してください。



操作パネル図

（2）空調機の機能を変更

・初期設定画面にてカーソルを「2 空調機機能設定」に合わせて、ENTキーを押します。

・空調機の機能設定を行います。各機能番号の意味づけは以下のとおりです。

		デフォルト値	Min	Max
NO.1:	機能設定項目数	23	—	—
NO.2:	室内ユニット機外静圧値設定（Pa）	120.0	60.0	300.0
NO.3:	室外ユニット機外静圧設定値（Pa）	0.0	0.0	30.0
NO.4:	バッテリ時の圧縮機運転周波数（Hz）	20	20	81
NO.5:	圧縮機最低周波数（Hz）	20	20	81
NO.6:	室内固定風量設定（Hz）	49 ※1	35	57
NO.7:	エバコン差動圧力設定(MPa)	3.8	3.3	4.0
NO.8:	室内最小風量設定（Hz）	35 ※1	35	57
NO.9:	室内ファン出力補正	0	−100	100
NO.10:	冷媒ポンプ有無	0（無）	0(無)	1(有)
NO.11:	温度差（ΔT）	8.0	5.0	10.0
NO.12:	室外高静圧有効/無効	0(無効)	0(無効)	1(有効)

※1　本値になっていない場合がありますが、その場合は本値（推奨値）に設定してください。

［空調機機能設定　］　A 1

AC	1	2	3
1	23.0	120.0	0.0
2	23.0	120.0	0.0
3	12.0	117.6	0.0
4	12.0	117.6	0.0

（3）制御盤情報（基本ユニット、予備回路）の設定

・初期設定画面にて「3 制御盤設定」にカーソルを合わせてENTキーを押します。

・基本ユニット、予備回路１～４の機種、ならびにどのゾーンに接続されているかを設定します。
接続無しの場合、機種設定、ならびにゾーン設定とも「－」に設定してください。
機種設定：「---------」→「ｶﾞｲｷｿｳﾌｳｷ」→「ｶﾞｲｷ+ﾋｰﾀ」→「ｶﾞｲｷ+ｶｼﾂｷ」→「ｶｼﾂｷ」→「---------」
ゾーン設定：「－」→「ｿﾞｰﾝ1」→「ｿﾞｰﾝ2」→「ｿﾞｰﾝ3」→「ｿﾞｰﾝ4」→「ｿﾞｰﾝ5」→「－」

［制御盤設定　］　A 1　▼ ▶

	基本ユニット	予備回路1	予備回路2
	ｶﾞ イキソウフウキ ｿﾞ ーン　1	ｶﾞ イキ+ヒータ ｿﾞ ーン　2	ｶﾞ イキ+カシツキ ｿﾞ ーン　3

（4）温湿度センサーの有無を設定

・初期設定画面にて「4 センサー設定」にカーソルを合わせてENTキーを押します。

・各ゾーン毎に温湿度センサーが接続されているか設定します。
有り/無し：「ﾅｼ」→「ｱﾘ」→「ﾅｼ」

［センサー設定　］　A 1　▼

ｿﾞｰﾝ	温湿度センサ		
1	アリ		
2	ナシ		
3	アリ		
4	ナシ		

（５）昼夜切換時間の設定変更

・初期設定画面にて「５ 昼夜切換時間」にカーソルを合わせてENTキーを押します。

・昼開始時間、並びに夜開始時間を１０分単位で設定します。

［昼夜切換時間　　］			A 1
	昼開始時間	夜開始時間	
	9：00	17：00	

（６）ホスト名称の設定

・初期設定画面にて「６ ホスト名称設定」にカーソルを合わせてENTキーを押します。

・ＤＨＣＰクライアントのホスト名称、ならびに装置名番号を設定します。

ホスト名コード設定範囲：00～63 （初期値：－－）

装置名コード設定範囲：851～874 （初期値：―――）

［ホスト名称設定　］			A 1 ▶
	ホスト名	装置名	
	－－	－－－	

（７）現在時刻の設定

・初期設定画面にて「７ 時刻設定」にカーソルを合わせてENTキーを押します。

・現在の年、月、日、時、分をそれぞれ設定します。

［時刻設定　　］	A 1 ▶
00 ／ 00 ／ 00　　00：00	

（注意）・既に時刻設定がされている場合、本画面に移行した時点の時刻を表示しますが、時刻が経過しても時刻表示は変化しません。

（8）順次起動

・初期設定画面にて「9　順次起動」にカーソルを合わせてENTキーを押します。

・空調機電源投入時の順次起動制御の有効/無効を設定します。

（R410Aタイプ空調機のみ設定可能です。本設定を実施するにはシステム構成の設定が完了している必要があります。

順次起動	設定内容
ユウコウ	空調機電源投入後、空調機アドレス番号に応じた遅延時間経過後に起動を開始します。
ムコウ	空調機電源投入後、遅延時間なく起動を開始します。 ＊複数台の空調機が一斉に起動しますので、無効設定にする際には、現地設備管理の方に確認のうえ実施してください。

＊R407Cタイプ空調機は常に順次起動が有効になっています。（設定変更はできません。）

［順次起動設定変更　］			A 1
AC	順次起動		
1	ユウコウ		
2	ユウコウ		
3	ユウコウ		
4	ムコウ		

（９）一括送信

・初期設定画面で設定した（１）～（８）項の設定内容をAGCUへ一括送信します。
・初期設定画面にて「８ 一括送信」にカーソルを合わせてENTキーを押します。
・「一括送信してよろしいですか」と表示された後、送信する場合（ＹＥＳ）はENTキーを、キャンセルする場合（ＮＯ）はESCキーを押します。
・「しばらくお待ち下さい」表示になります。

```
[一括送信画面      ]          A 1
・一括送信してよろしいですか
・YES＝ENT
・NO＝ESC
```

（１０）システムの立ち上げ

・上記（１）～（８）項の設定が全て終了しましたら、初期設定メニュー画面でＥＳＣキーを押します。
・「イニシャライズ中」になりシステムの立ち上げを始めます。そのままお待ちください。
・システムの立ち上げが終了すると「メインメニュー」画面になります。
・この時点で以下の内容を確認してください。
　①画面右上にA表示があるか。
　②画面右上に1表示があるか。
　③増設用操作パネル接続時、画面右上に2表示があるか。

■制御モードの設定

操作パネルにて、空調機の制御モードを設定します。設定できる項目には、温度の制御方法、室内風量制御方法、および室内温度と吹出温度の温度差の3つがあります。
各項目の設定は、操作パネルにて「特殊設定画面」の「2.温度制御設定」を選択してください。

(1)温度制御モード

「制御方法１」にて温度制御モードを選択します。選択できるモードは、下記のとおりです。
①吸込優先モード（スイコミユウセン）
②吹出優先モード（フキダシユウセン）

[温度制御設定　　]

AC	制御方法1	制御方法2	風量
1	スイコミユウセン	サイテイフウリョウ	＊＊Hz
2	スイコミユウセン	コテイフウリョウ	＊＊Hz
3	フキダシユウセン	カヘンフウリョウ	＊＊Hz
4	スイコミユウセン	カヘンフウリョウ	＊＊Hz

※工場出荷時は、吸込優先モードに設定しています。

(2)風量制御モード

「制御方法2」にて風量制御モードを選択します。選択できるモードは、下記のとおりです。
①可変風量（カヘンフウリョウ）
②固定風量（コテイフウリョウ）
③最低風量（サイテイフウリョウ）…風量範囲の下限値を設定する運転モードです。

[温度制御設定　　]

AC	制御方法1	制御方法2	風量
1	スイコミユウセン	サイテイフウリョウ	＊＊Hz
2	スイコミユウセン	コテイフウリョウ	＊＊Hz
3	フキダシユウセン	カヘンフウリョウ	＊＊Hz
4	スイコミユウセン	カヘンフウリョウ	＊＊Hz

※工場出荷時は、可変風量に設定しています。

【注意】

風量制御モードを最低風量（サイテイフウリョウ）に設定した場合は、「風量」にて設定周波数の設定を行ってください。

(3)温度差の設定

「温度差」にて室内温度と吹出温度の温度差を設定します。
選択できる範囲は5～10℃です。

[温度制御設定　　]

AC	温度差	室外高静圧	室内機外静圧
5	＊＊.＊　℃	ON	＊＊＊Pa
6	＊＊.＊　℃	OFF	＊＊＊Pa
7	＊＊.＊　℃	ON	＊＊＊Pa
8	＊＊.＊　℃	OFF	＊＊＊Pa

※工場出荷時は、8℃に設定しています。

(4)室外高静圧の設定

「室外高静圧」にて室外ユニットの機外静圧設定の有効無効を設定します。

選択できるのは「ON」、「OFF」です。

［温度制御設定　　］			
AC	温度差	室外高静圧	室内機外静圧
5	＊＊.＊　℃	ON	＊＊＊Pa
6	＊＊.＊　℃	OFF	＊＊＊Pa
7	＊＊.＊　℃	ON	＊＊＊Pa
8	＊＊.＊　℃	OFF	＊＊＊Pa

※工場出荷時は、OFFに設定しています。

(5)室内機外静圧の設定

「機外静圧」にて室内ユニットの機外静圧を設定します。

設定できる範囲は60Pa～300Pa（60Pa刻み）です。

［温度制御設定　　］			
AC	温度差	室外高静圧	室内機外静圧
5	＊＊.＊　℃	ON	＊＊＊Pa
6	＊＊.＊　℃	OFF	＊＊＊Pa
7	＊＊.＊　℃	ON	＊＊＊Pa
8	＊＊.＊　℃	OFF	＊＊＊Pa

※工場出荷時は、120Paに設定しています。

■詳細設定

操作パネルにて、前頁以外の空調機の制御モード等を設定します。

各項目の設定は、操作パネルにて「特殊設定画面」の「6.詳細設定」にて、それぞれの項目を選択してください。

(1)除湿制御の設定

「除湿制御設定変更」にて「有効無効」、「下限風量」、「吹出下限設定」を選択します。

選択できるモードは下記のとおりです。

「有効無効」では、①有効（ユウコウ）、②無効（ムコウ）

「下限風量」では、①最大（サイダイ）、②中間（チュウカン）、③最低（サイテイ）

「吹出下限設定」では、設定できる範囲は12～15℃です。工場出荷時は12℃に設定しています。

［除湿制御設定変更　］			
ＡＣ	有効無効	下限風量	吹出下限設定
1	ユウコウ	サイダイ	１２℃
2	ユウコウ	チュウカン	１３℃
3			
4	ムコウ	サイテイ	１５℃

(2)無除湿制御の設定

「無除湿制御設定変更」にて「有効無効」を選択します。

選択できるモードは下記のとおりです。

「有効無効」では、①有効（ユウコウ）、②無効（ムコウ）

「開始条件A」「終了条件B」では、－1.0℃～2.0℃です。

［無除湿制御設定変更］			
ＡＣ	有効無効	開始条件Ａ	終了条件Ｂ
1	ユウコウ	＊＊.＊℃	＊＊.＊℃
2	ユウコウ	＊＊.＊℃	＊＊.＊℃
3			
4	ムコウ	＊＊.＊℃	＊＊.＊℃

(3)加湿器連動制御の設定

「加湿器連動設定変更」にて「加湿器連動」を選択します。

選択できるモードは下記のとおりです。

①有効（ユウコウ）、②無効（ムコウ）

［加湿器連動設定変更］			
ＡＣ	加湿器連動		
1	ユウコウ		
2	ユウコウ		
3			
4	ムコウ		

(4)多点温度制御の設定

〈操作パネルがver82.0300以前の場合〉

「多点温度制御設定」にて「多点制御」、「室内設定温1～3」、「吹出設定温1～3」を選択します。

選択できるモード、範囲は下記のとおりです。

「多点制御」では、①ON1、②ON2、③OFF

「室温設定温1～3」では、20～40℃（特殊温度設定により20℃未満となっている場合は＊20.0℃と表示）

「吹出設定温1～3」では、15～35℃（特殊温度設定により15℃未満となっている場合は＊15.0℃と表示）

※一部の多点温度センサーを無効とする場合は、0℃を設定してください。

［多点温度制御設定　］

AC	多点制御		
1	ON1		
2	ON2		
3			
4	OFF		

［多点温度制御設定　］

AC	室内設定温 1	室内設定温 2	室内設定温 3
1	＊20.0℃	＊20.0℃	＊20.0℃
2	21.0℃	21.0℃	21.0℃
3			
4	23.0℃	23.0℃	0.0℃

［多点温度制御設定　］

AC	吹出設定温 1	吹出設定温 2	吹出設定温 3
1	＊15.0℃	＊15.0℃	＊15.0℃
2	15.0℃	15.0℃	15.0℃
3			
4	18.0℃	18.0℃	0.0℃

〈操作パネルがver82.0301以後の場合〉

「多点温度制御設定」にて「多点制御」、「多点設定温1～6」を選択します。

選択できるモード、範囲は下記のとおりです。

「多点制御」では、①ON1、②ON2、③OFF

「多点設定温1～6」では、①制御方法1が吸込優先モードのとき20～40℃（特殊温度設定により20℃未満となっている場合は＊20.0℃と表示）、②制御方法1が吸出優先モードのとき15～35℃（特殊温度設定により15℃未満となっている場合は＊15.0℃と表示）

※一部の多点温度センサーを無効とする場合は、0℃を設定してください。

［多点温度制御設定　］

AC	多点制御		
1	ON1		
2	ON2		
3			
4	OFF		

［多点温度制御設定　］

AC	多点設定温 1	多点設定温 2	多点設定温 3
1	＊20.0℃	＊20.0℃	＊20.0℃
2	21.0℃	21.0℃	21.0℃
3			
4	23.0℃	23.0℃	0.0℃

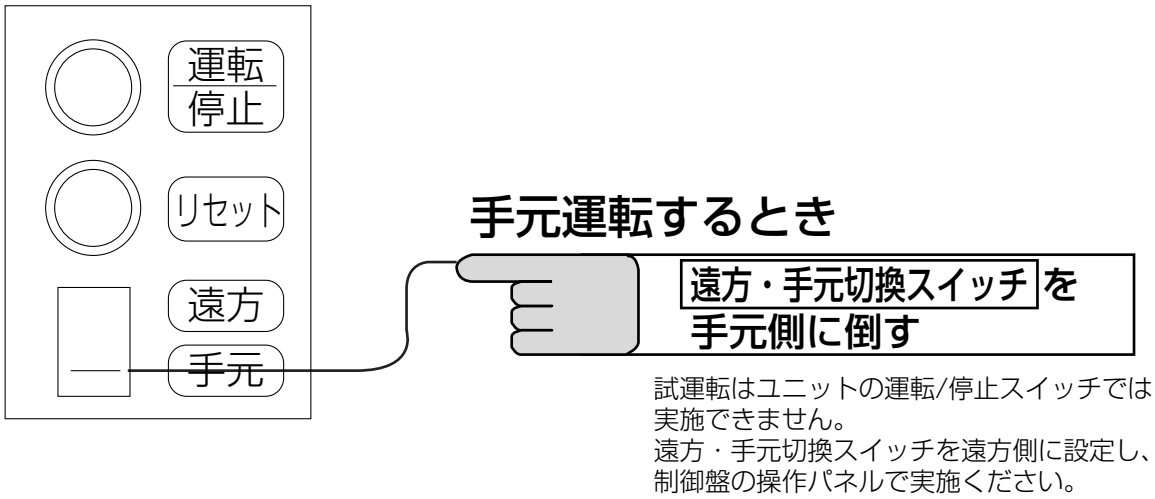
［多点温度制御設定　］

AC	多点設定温 4	多点設定温 5	多点設定温 6
1	＊20.0℃	＊20.0℃	＊20.0℃
2	20.0℃	20.0℃	20.0℃
3			
4	22.0℃	22.0℃	0.0℃

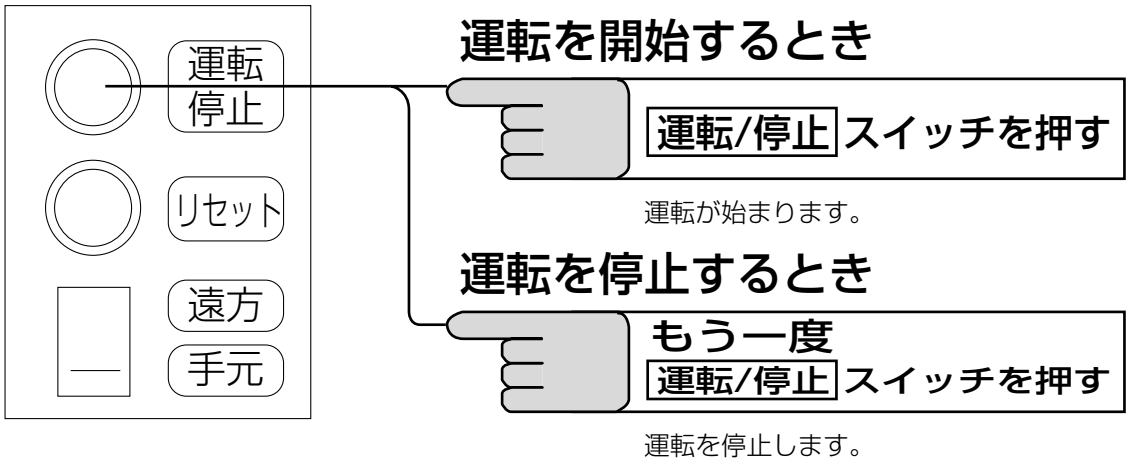
設定変更については、弊社までお問い合わせください。

■手元運転のしかた

(1)遠方・手元切換



(2)運転開始・停止



お願い

- ●運転・停止以外の操作（温度設定等）は本ユニットからはできません。空調制御盤の操作パネルから行ってください。
- ●運転を停止するとき、遠方モードでは停止できません。手元モードに切換えてから、運転・停止スイッチを押してください。

2．機能説明

■室内風量設定

モード	内　容	運転中の風量
通常風量	初期設定のモード	135～270m³/min 可変風量
最低風量確保	設定により最低周波数を変更可能	設定風量～270m³/min 可変風量
最大風量固定	設定により固定	機外静圧の違いにより47～57Hzのいずれかに固定（270m³/min に固定）

室内ファン周波数は通常、35～49Hzまで変化します、。（機外静圧120Pa設定時）
室内機外静圧により、若干周波数が異なります。
保護制御のため運転中の風量が変化することがあります。
モードの変更方法は、空調制御盤取扱説明書を参照してください。

■空気温度制御方法

モード	内　容
吸込優先	冷媒回路の高圧（凝縮温度）、低圧（蒸発温度）目標に近づけるように圧縮機周波数、室内送風機風量、室外送風機風量を変更します。 吸込空気（または吹出空気）の検知温度と設定値の差により低圧（蒸発温度）目標値を変更することで能力調整して、空気温度の制御を行います。
吹出優先	

圧縮機周波数は、通常20～81Hzまで変化します。
室内送風機風量は135～270m³/minで変化します。
室外送風機風量は80～264m³/minで変化します。
モードの変更方法は、空調制御盤取扱説明書を参照してください。

■モード変更による制御方法

		圧縮機周波数	室内送風機風量	室外送風機風量　※
通常風量	吸込優先	20～72(20～81)Hzで変化	135～270m³/minで変化	40～132m³/minで変化
	吹出優先			
最低風量確保	吸込優先	20～72(20～81)Hzで変化	設定風量～270m³/minで変化	40～132m³/minで変化
	吹出優先			
最大風量固定	吸込優先	モードなし		
	吹出優先	20～88(20～101)Hzで変化	270m³/minで固定	40～132m³/minで変化

(　)内は電源60Hz時
※室外送風機風量は、モーター1個あたりの風量です。

■機外静圧設定

現地の室内機外静圧に合わせて、設定を変更してください。
機外静圧は、60～300Paの範囲で60Pa刻みで設定可能です。
室内送風機風量は、全ての機外静圧設定においても「室内風量設定」のとおりになります。
ただし、設定を誤ると風量範囲が変化しますので正しく設定してください。
モードの変更方法は、空調制御盤取扱説明書を参照してください。

■除湿制御

外部からの除湿制御信号受信（空調機のTB10、または制御盤（基本ユニット）のTB6の接点ポート接続）かつ操作パネルの設定により、強制的に除湿を行います。
除湿制御中は、空気温度制御の設定によらず「吹出優先」となります。
制御中の下限風量や吹出温度の下限値を設定することができます。
設定方法は、空調制御盤取扱説明書を参照してください。

■無除湿制御

操作パネルにより、制御の有効無効を切替えます。
温湿度センサー（現地手配）によりできるだけ除湿を行わない制御をします。
無除湿制御中は、吸込温度（吹出温度）が、設定温度まで下がらないことがあります。
設定方法は、空調制御盤取扱説明書を参照してください。

■加湿器連動制御

外部からの加湿器連動制御信号受信（空調機のTB10、または制御盤（基本ユニット）のTB6の接点ポート接続）かつ操作パネルの設定により、加湿器を使用している場合に、できるだけ除湿を行わない制御をします。
加湿器連動制御中は、室内送風機風量は最大風量となります。
設定方法は、空調制御盤取扱説明書を参照してください。

■室外機低騒音運転制御、室外機極低騒音運転制御

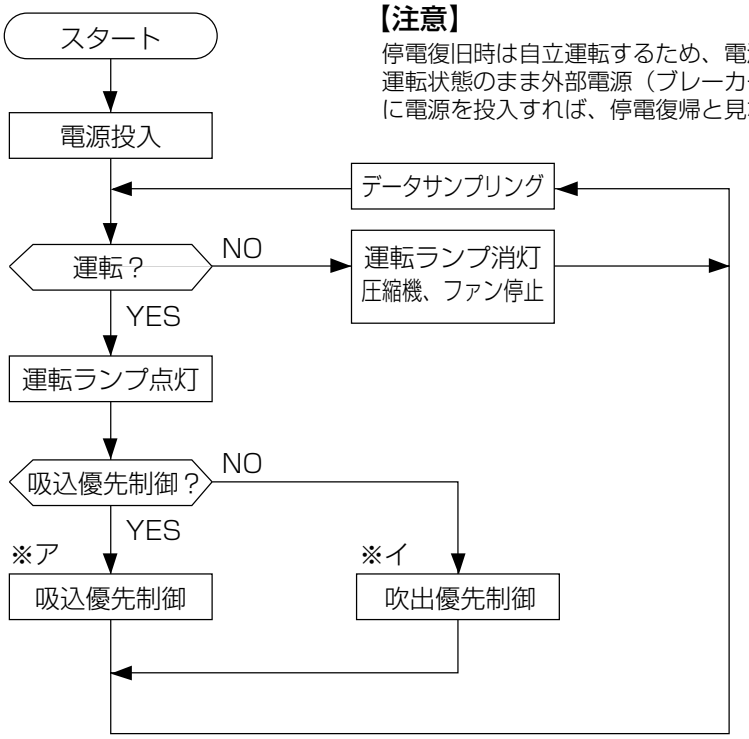
外部からの室外機低騒音運転制御信号、または室外機極低騒音運転制御信号受信（空調機のTB10の接点ポート接続）により、室外機送風機の回転数をあらかじめ定めた制御値以下となるよう抑制した状態で運転を行います。ただし、能力不足の場合、バックアップ制御に入る場合は、室外機低騒音運転制御、室外機極低騒音運転制御から抜け通常制御へ移行します。
※室外機低騒音運転制御信号と室外機極低騒音運転制御信号を同時にいれないでください。

■多点温度制御

操作パネルにより、制御の有効無効を切替えます。
空調機内の温度センサーと、機外に設置された多点温度制御用温度センサー（別売）の計測値によって、空調機を制御します。
多点温度制御用温度センサーは、室温と吹出温度とを計測するために、空調機1台に対していずれか6点まで接続することができます。
それぞれのセンサー個別に設定値を設定することができます。
設定方法は空調制御盤取扱説明書を参照してください。
多点温度制御の概要を下表に示します。

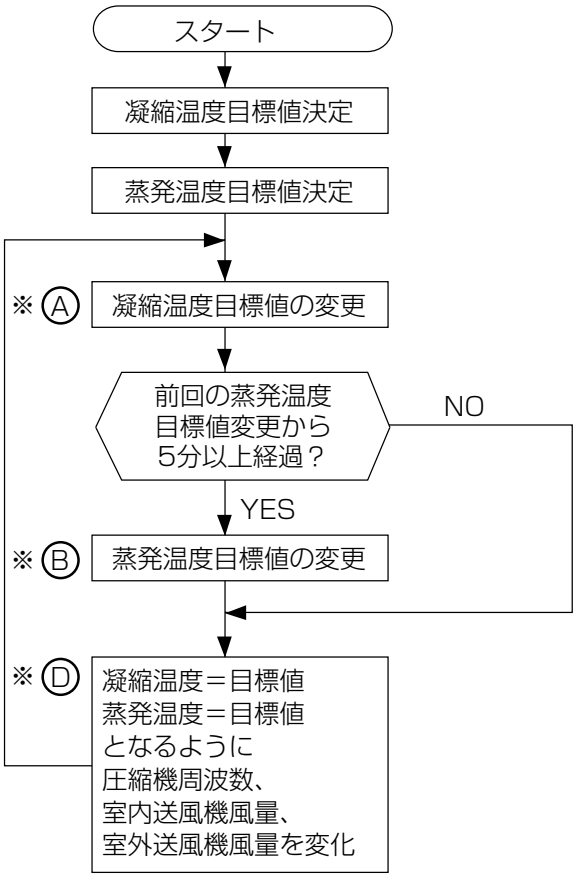
モード	内　容
吸込優先	＜制御モード①＞ 室温を計測するセンサー各々の計測値と各々の設定値との差を演算し、 差が大きくなるセンサーを使用して制御します。 （計測値－設定値＞0のセンサーを使用して制御する）
	＜制御モード②＞ 室温を計測するセンサー各々の計測値と各々の設定値との差の絶対値を演算し、 最も大きくなるセンサーを使用して制御します。 （計測値－設定値＞0、計測値－設定値＜0のセンサーを使用して制御する）
吹出優先	＜制御モード①＞ 吹出温度を計測するセンサー各々の計測値と各々の設定値との差を演算し、 差が大きくなるセンサーを使用して制御します。 （計測値－設定値＞0のセンサーを使用して制御する）
	＜制御モード②＞ 吹出温度を計測するセンサー各々の計測値と各々の設定値との差の絶対値を演算し、 最も大きくなるセンサーを使用して制御します。 （計測値－設定値＞0、計測値－設定値＜0のセンサーを使用して制御する）

■運転フローチャート（通常制御）

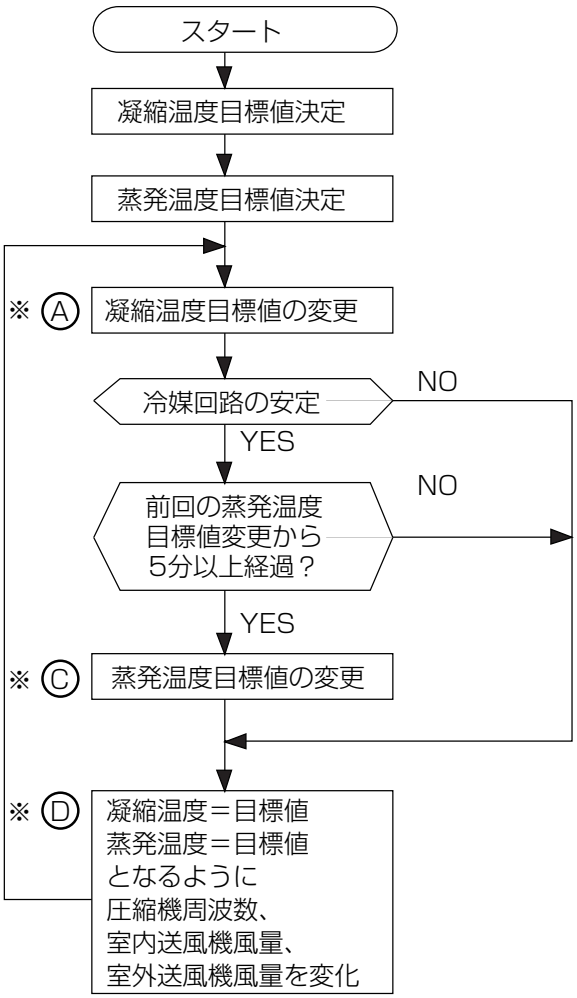


【注意】
停電復旧時は自立運転するため、電源投入時ご注意ください。
運転状態のまま外部電源（ブレーカー）をOFFした場合、次に電源を投入すれば、停電復帰と見なし運転を開始します。

※ア．吸込空気温度制御 20秒毎に以下の制御を行います。



※イ．吹出空気温度制御 20秒毎に以下の制御を行います。



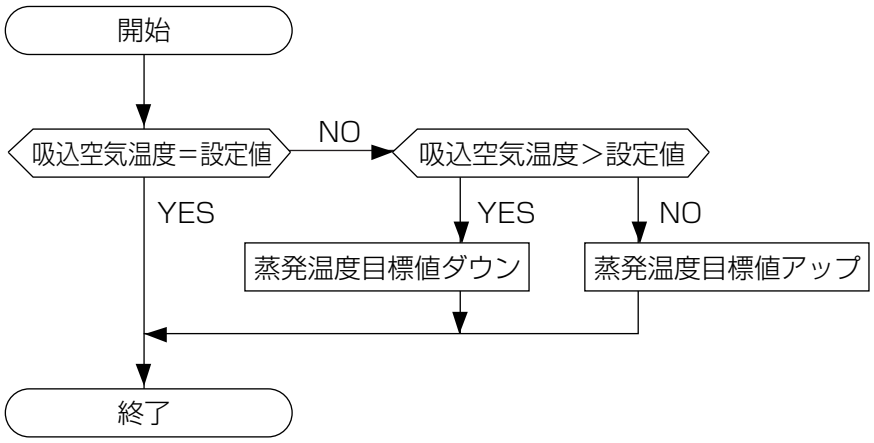
※Ⓐ～Ⓓは、次頁を参照してください。

Ⓐ 凝縮温度目標値の変更

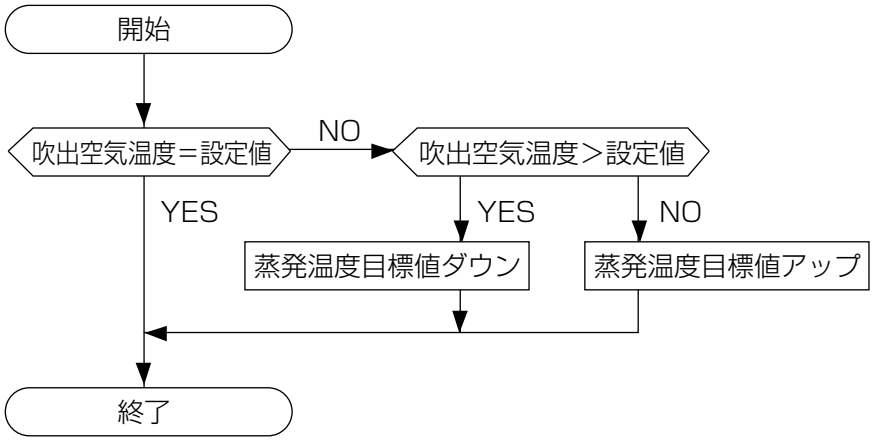
室外気温から目標値を決定します。

凝縮温度の目標値＝室外気温＋10℃
ただし25℃≦凝縮温度の目標値≦50℃

Ⓑ 蒸発温度目標値の変更（吸込空気温度制御）



Ⓒ 蒸発温度目標値の変更（吹出空気温度制御）



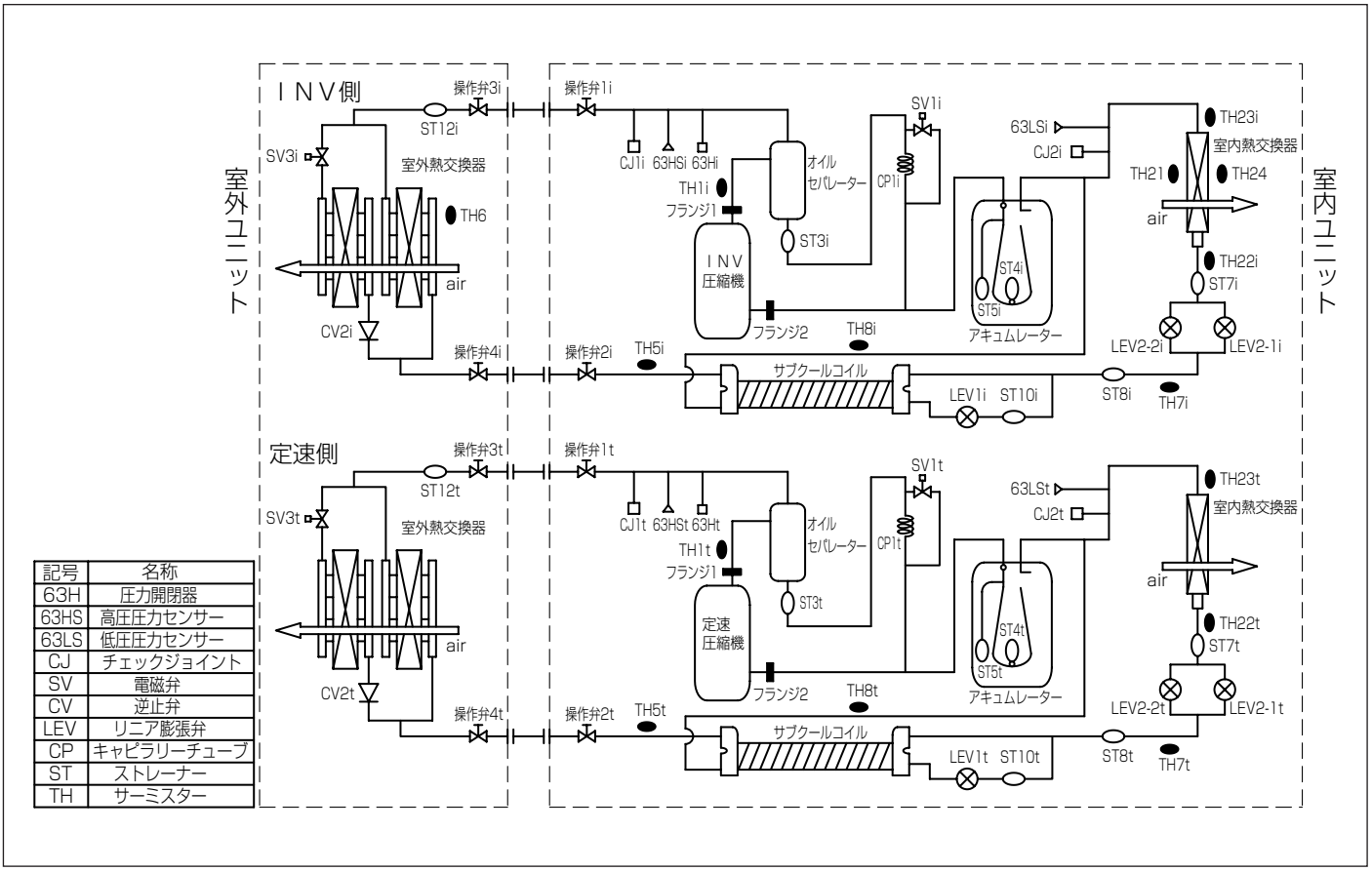
Ⓓ 圧縮機周波数、室内送風機風量、室外送風機風量制御

凝縮温度＝目標値
蒸発温度＝目標値
となるよう下表の制御を行います。

	圧縮機周波数	室内送風機風量	室外送風機風量
凝縮温度＞目標値	ダウン	ダウン	アップ
凝縮温度＝目標値	現状維持	現状維持	現状維持
凝縮温度＜目標値	アップ	アップ	ダウン
蒸発温度＞目標値	アップ	ダウン	アップ
蒸発温度＝目標値	現状維持	現状維持	現状維持
蒸発温度＜目標値	ダウン	アップ	ダウン

●凝縮温度と蒸発温度の判定による制御方向が逆の場合、蒸発温度側の判定を優先します。
●プルダウンおよび過剰能力時は、室内送風機風量は上表と異なる制御を行う場合があります。

■冷媒系統の機能説明



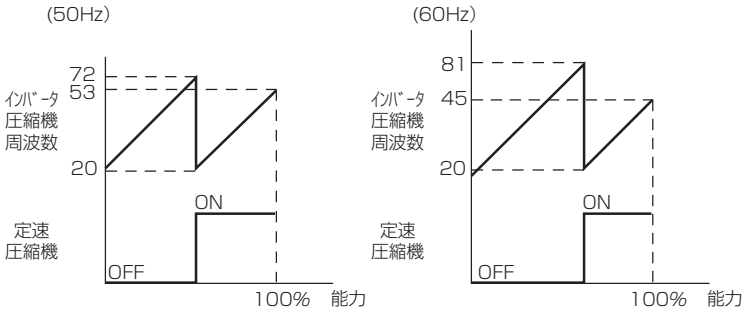
記号	名称
63H	圧力開閉器
63HS	高圧圧力センサー
63LS	低圧圧力センサー
CJ	チェックジョイント
SV	電磁弁
CV	逆止弁
LEV	リニア膨張弁
CP	キャピラリーチューブ
ST	ストレーナー
TH	サーミスター

【室内ユニット】

●INV圧縮機　インバーター駆動により、20～72(20～81)Hz運転が可能なスクロール圧縮機。
●定速圧縮機　空調負荷が大きい場合に運転を行います。
●電子膨張弁2-1,2-2　過熱度制御を行う、パルス駆動リニア制御弁。（停止時は全閉）
●電子膨張弁1　スーパーヒート制御を行う。
●低圧圧力センサー　吸入圧力を検知し、吸入圧力低下時の保護制御および、冷房能力の計算に使用する。
●高圧圧力センサー　吐出圧力を検知し、吐出圧力上昇時の保護制御と冷房能力の計算に使用する。
●高圧圧力開閉器　4.15MPa以上になると異常を検知し運転を停止させます。

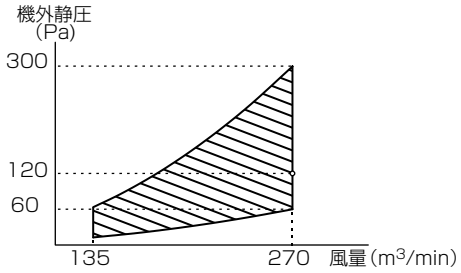
■圧縮機の容量制御 （　）内は電源60Hz時

インバーター圧縮機を20～72(20～81)Hzで制御します。
制御ステップは1Hzごとです。
周波数の変化幅は最大8Hzです。



■室内ファンの容量制御

インバーター制御により、室内ファンを35～64Hzの間で風量制御します。（下図の斜線部分）
機外静圧の違いにより、インバーター制御テーブルを変更します。



○印は定格ポイントを示します。

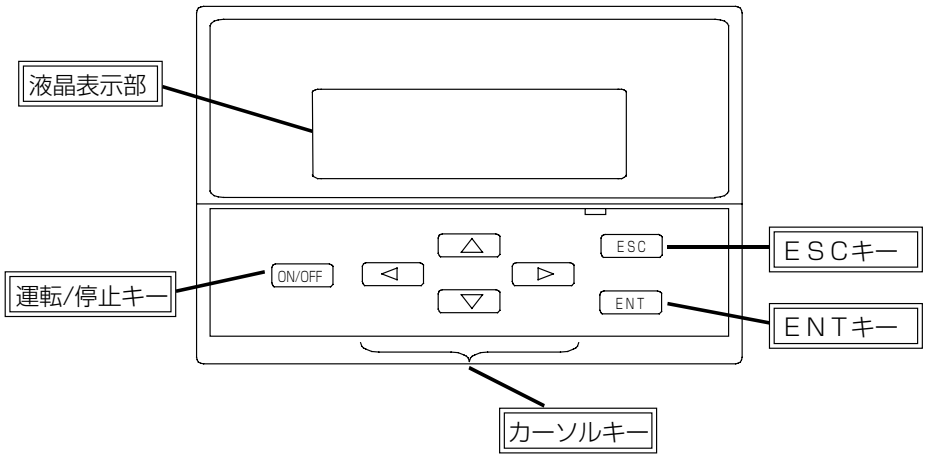
270m³/min時の機外静圧	周波数の制御範囲
300Pa	35～57Hz
240Pa	35～54Hz
180Pa	35～51Hz
120Pa	35～49Hz
60Pa	35～47Hz

3．試運転

1．試運転前の確認事項

●冷媒漏れ、電源、伝送線にゆるみがないことを確認します。
●電源端子台と大地間を500Vメガーで計って、1.0MΩ以上あることを確認します。
・絶縁抵抗が、1.0MΩ以下の場合は運転しないでください。
・伝送線用端子台にはメグチェックは絶対にかけないでください。制御基板が破損します。
・据付け直後、もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合には、圧縮機内に冷媒が溜まることにより、電源端子台と大地間の絶縁抵抗が、1.0MΩ近くまで低下することがあります。
・絶縁抵抗が1.0MΩ以上ある場合は、元電源を入れてクランクケースヒーターを12時間以上通電することにより、圧縮機内の冷媒が蒸発するので絶縁抵抗は上昇します。
●ガス側と液側のボールバルブがともに全開になっていることを確認します。
・キャップは必ず締めてください。
●三相電源の相順と各相間電圧を確認してください。
・欠相または逆相の場合は、試運転時異常停止（4402or4403エラー）となります。
●試運転の最低12時間以上前に元電源を入れて、クランクケースヒーターに通電します。
・通電時間が短いと圧縮機故障の原因となります。

2．試運転方法



<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>操作手順</th><th>動作（注意事項）</th></tr>
<tr><td rowspan="6">試運転準備</td><td>1</td><td>12時間以上前に、元電源を入れる</td><td>約３分で立ち上げ処理完了。
数分後リモコン画面暗くなる。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>操作パネルのいずれかのキーを押す。</td><td>リモコン画面明るくなる。
「メインメニュー」画面となる。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>「メインメニュー」画面で＜と＞とENTのキーを同時に押す。</td><td>「試運転」画面となる。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>「試運転」画面でカーソルを移動させて、「1.設定値変更」を選定しENTを押す。</td><td>「設定値変更」画面となる。</td></tr>
<tr><td>5</td><td>カーソルを移動させ、試運転を行う空調機の号機の試運転モードの部分を選定しENTを押す。</td><td>選択した部分が点滅する。</td></tr>
<tr><td>6</td><td>∧ ∨を使って「AUTO」表示を「TEST」に切換えENTを押す。</td><td>試運転モードとなる。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ＩＮＶ側</td><td>7</td><td>INV側圧縮機周波数設定
６の操作後、カーソルキーで試運転を行う空調機の号機の圧縮機INVの部分を選択し ENT を押す。
∧∨を使って圧縮機周波数を表示させ ENT を押す。
※ここでは57Hzに設定する。</td><td>選択した部分が点滅する。

圧縮機周波数が設定される。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>室内ファン周波数設定
７と同様に室内ファンの周波数を設定する。</td><td>室内ファン周波数が設定される　※ここでは以下の周波数に設定する。
<table><tr><th>機外静圧設定（Pa）</th><th>周波数（Hz）</th><th>機外静圧設定（Pa）</th><th>周波数（Hz）</th></tr><tr><td>60</td><td>45</td><td>240</td><td>54</td></tr><tr><td>120</td><td>47</td><td>300</td><td>57</td></tr><tr><td>180</td><td>51</td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>9</td><td>INV側室外ファン風量設定
７、８と同様に室外ファンＩの風量を設定する。
※ここでは100%に設定する。</td><td>INV側室外ファン風量が設定される。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>INV側回路試運転実施
カーソルキーで運転／停止の部分を選定し ENT を押す。次に ON／OFF を押し、「ON」表示に切り換え ENT を押す。

※INV側／定速側の誤配管接続確認のため、必ず片側（INV側）のみの運転を実施してください。
（定速機側回路のみの試運転は実施出来ません）</td><td>INV側回路運転開始
（気温条件等の制約がかかると圧縮機・室内ファン・室外ファンは設定値にならない場合があります。）
（室内温度または室外温度が高い条件では、高圧異常になる場合があります。この場合、7のINV圧縮機周波数を低く設定してください。）
（INV側回路のみの試運転の場合以下の11、12(定速機側回路試運転)は省略してください。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">定速機側</td><td>11</td><td>定速機側室外ファン風量設定
９と同様に室外ファンＣの風量を設定する。
※ここでは100%に設定する。</td><td>定速側室外ファン風量が設定される。</td></tr>
<tr><td>12</td><td>定速機側回路試運転実施
カーソルキーで圧縮機ＣＯＮの部分を選定し ENT を押す。次に∧ ∨を使って、１ダイに設定し ENT を押す。</td><td>定速機側回路運転開始。
（気温条件等の制約がかかると室外ファンは設定値にならない場合があります。）
（定速機側回路のみの試運転は実施出来ません）</td></tr>
<tr><td>確認</td><td>13</td><td>冷房運転確認
冷媒回路安定後、次頁の試運転チェックシートに運転状態および空調機情報を記入してください。
※冷媒回路の安定は以下の条件で判断してください。
・室内SH(TH23(i,t)－TH22(i,t))が2K付近で安定
または
・室内LEV2-1、2-2(i,t)の開度が安定</td><td>（冷媒回路の安定には15～20分程度かかります。）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">試運転終了</td><td>14</td><td>定速機側回路の試運転終了
定速機側回路を運転している場合は、カーソルキーで圧縮機ＣＯＮの部分を選定し ENT を押す。次に∧∨を使って、０ダイに設定し ENT を押す。</td><td>定速機側回路の運転が終了する。</td></tr>
<tr><td>15</td><td>INV側回路の試運転終了
カーソルキーで運転／停止の部分を選定し ENT を押す。次に ON／OFF を押し、「OFF」表示に切り換え ENT を押す。</td><td>INV側回路の運転が終了する。</td></tr>
<tr><td>16</td><td>カーソルを移動させ、試運転を行う空調機の号機の試運転モードの部分を選定し ENT を押す。
∧ ∨を使って「TEST」表示を「AUTO」に切換え ENT を押す。</td><td>試運転モード終了</td></tr>
<tr><td>17</td><td>試運転モードが「AUTO」に切換っていることを確認して、ESCを押し、試運転画面にもどり、カーソルキーで「メインメニュー」を選定し、ENTを押す。</td><td>「メインメニュー」にもどる。
試運転終了。</td></tr>
</table>

4．お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず元電源を「切」にしてください。

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

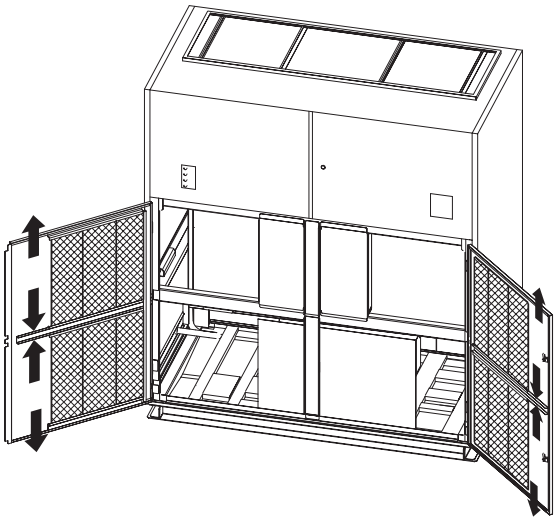
- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。

感電注意

■室内ユニットのお手入れ

●室内ユニットには、吸込空気のゴミを取るためのエアフィルターがあります。下図を参照して、フィルターを清掃してください。（エアフィルターは3ヶ月に一度は点検し、清掃してください。）

【エアフィルターの外しかた】



吸込グリルのカギ（2カ所）を開けて
エアフィルター（4カ所）を取出してください。

フィルター清浄・交換など高所作業時は足元に注意すること。

- 落下・転倒し、けがのおそれあり。

足元注意

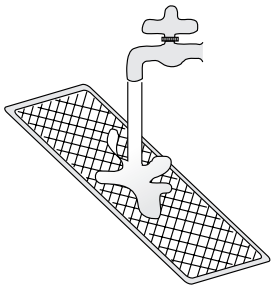
フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ホコリが目に入り、けがのおそれあり。

ホコリ注意

【清掃のしかた】

●中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水でゆすぎ洗いし、その後洗剤をよく洗い落としてください。洗った後は、乾燥させてから元どおりに取付けてください。



お願い

●フィルターを直接日光に当てたり、火にあぶって乾かさないでください。変形することがあります。
●熱い湯（50℃以上）で洗うと、変形することがあります。

水・液体で洗わないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

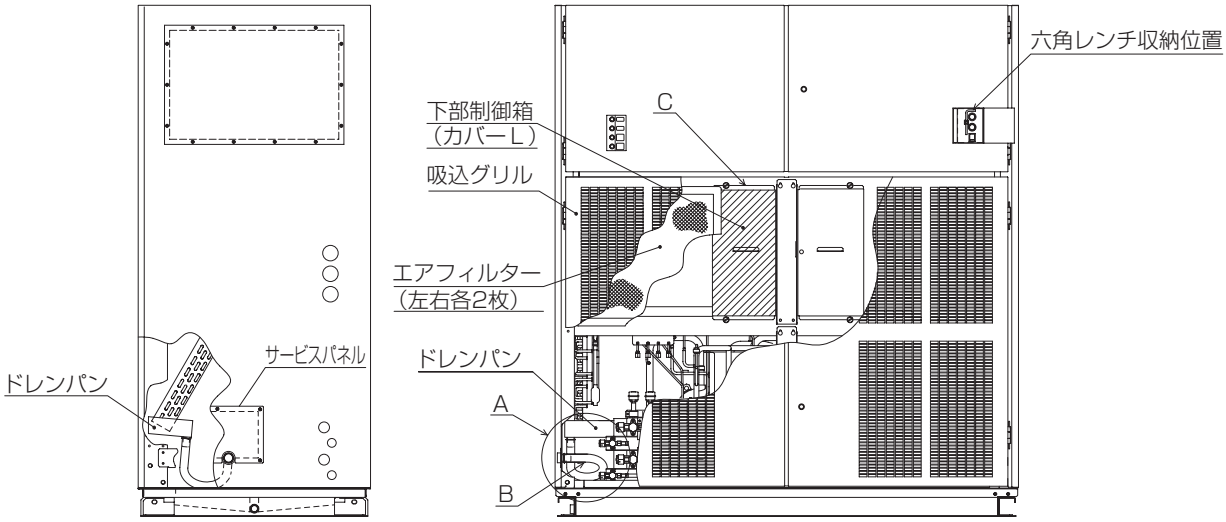
水ぬれ禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。

使用禁止

【図1】<PADY-P450NMT-E>

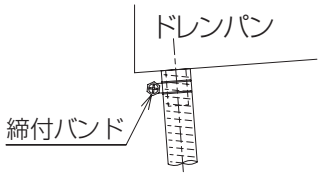


【ドレンパンの清掃のしかた】

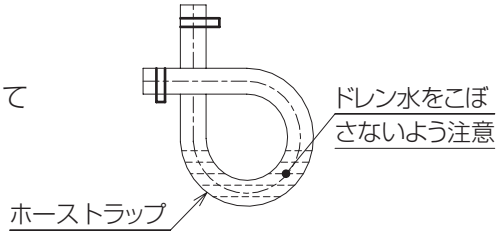
①六角レンチにて吸込グリルの鍵をあけ、扉を開いてください。六角レンチは上部前パネルスイッチ部に収納しています。（サイドパネル(左)のサービスパネルを外すと作業性が向上します。
②ドレンパンやドレン出口に付着しているホコリやゴミを取除き、ぬれた布などでふいてください。
手の届かない所には【図2-C】の棒を現地手配し、先端に布等を巻き付け清掃してください。
このとき、金属エッジ等で手を切らないように注意してください。
③清掃後、排水性の確認を実施してください。
④作業終了後、吸込グリルを閉めてください。

【ドレンホースの清掃のしかた】

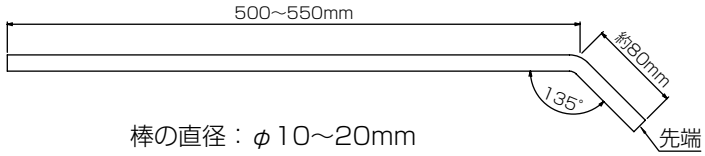
①六角レンチにて吸込グリルの鍵をあけ、扉を開いてください。
（左サイドパネル下部のメンテパネルを外しても作業可能です）
②ドレンホース上下の締付けバンドのネジを緩め、ホースを本体から外してください。（図2．A部詳細図）
このとき、ホーストラップにたまった水を機外へこぼさないよう注意してください。（図2．B部詳細図）
③ドレンホースを清掃してください。
④ドレンホースを元通り取付けてください。
取付けの際は、根元までしっかり差し込んでからバンドで締付けるようにしてください。
取付後、ドレンパンから注水し、トラップ内に封水してください。
⑤作業終了後、吸込グリルを閉じてください。



【図2．A部詳細図】



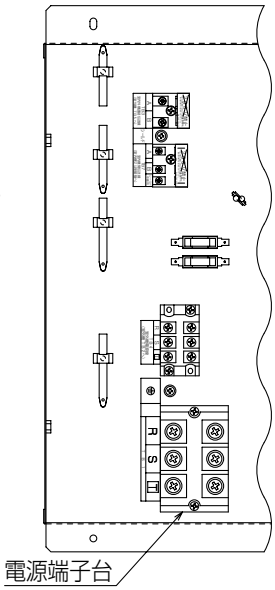
【図2．B部詳細図】



【図2-C．棒の概略図】

【メガーチェックのしかた】

①電源を切ってから制御箱内コンデンサーが放電するまで5分程度待ちます。
②六角レンチにて吸込グリルを開いてください。
③ローレットネジ(2本)を緩めて下部端子箱カバー(カバーL)を外してください。（図3．C部）
④電源端子台の絶縁を測定してください。…RST共に測定してください。
※電源端子台と大地間をDC500メガーで計って1.0MΩ以上であることを確認してください。
⑤カバーLを元どおり取付けてください。
⑥吸込グリルを閉めてください。



【図3．C部詳細図】

■室外ユニットのお手入れ

●清掃時は必ず室外ユニットの電源を遮断し、作業を行ってください。

電気部品に水をかけないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

5 .サービスをお申しつけの前に

■故障画面表示の確認

故障発生時、操作パネルは故障画面に遷移します。
下表を参照して表示されている異常コード、チェックポイントを確認してください。
故障画面の詳細については、空調制御盤取扱説明書「操作パネル操作方法」を参照してください。

【異常コード一覧（空調機）】

INV側コード	定速側コード	空調機故障	故障画面表示	遠隔ﾘｾｯﾄ可否
0433	0403	シリアル通信異常ＩＰＭ通信	通信異常	○
1152	1172	吐出温度異常	吐出管温度異常	×
1352	1382	高圧圧力異常	高圧圧力異常	×
1550	1560	冷媒過充填アキュムレータオーバーフロー	冷媒不足・過多	×
2530		漏水異常フロートスイッチ作動	ドレンパン水位異常	×
4402		欠相異常	欠相異常	×
4403		逆相異常	逆相異常	×
ー	4108	定測機1過電流遮断	圧縮機故障	○
4414		室内ファンコントローラ異常	送風機故障	○
4415		電源周波数異常	電源周波数異常	×
4416		室内ファン過電流異常	送風機故障	×
4520	ー	インバータ母線電圧低下異常	圧縮機インバータ異常	○
4540	ー	インバータ過負荷保護	圧縮機インバータ異常	○
4550	ー	ＩＰＭ異常一括ＩＰＭ/母線電圧異常	圧縮機インバータ異常	○
5131	5161	吐出温度センサ異常ＴＨ1	センサーエラー	○
5135	5165	液管温度センサ異常ＴＨ5	センサーエラー	○
5136		外気温度センサ異常ＴＨ6	センサーエラー	○
5137	5167	LEV前液管温度センサ異常ＴＨ7	センサーエラー	○
5138	5168	ガス管温度センサ異常ＴＨ8	センサーエラー	○
5151		室内吸込空気温度センサ異常ＴＨ21	センサーエラー	○
5152	5182	室内熱交入口液温度センサ異常ＴＨ22	センサーエラー	○
5153	5183	室内熱交出口ガス管温度センサ異常ＴＨ23	センサーエラー	○
5154		室内吹出空気温度センサ異常ＴＨ24	センサーエラー	○
5172		温湿度センサー2異常ＴＨ42	センサーエラー	○
5174		温湿度センサー1異常ＴＨ41	センサーエラー	○
5190	ー	INV・THHSセンサ/回路異常	センサーエラー	○
5231	5261	圧縮機吐出圧力センサ異常63ＨＳ	センサーエラー	○
5232	5262	圧縮機吸入圧力センサ異常63ＬＳ	センサーエラー	○
5331	ー	INV・IDCセンサ／回路異常	センサーエラー	○
5731		フロートスイッチ異常	センサーエラー	×
6630		室外ユニット停電	通信異常	○
		アドレス2重定義エラー		
6632		伝送プロセッサH／Wエラー	通信異常	○
6633		伝送ＢＵＳＹエラー	通信異常	○
6636		伝送プロセッサとの通信エラー	通信異常	○
6637		ＡＣＫ無しエラー	通信異常	○
6638		応答フレーム無しエラー	通信異常	○
7131		能力コードエラー	空調機初期設定異常	×
7132		接続ユニット台数異常	空調機初期設定異常	×
7135		アドレス設定エラー	空調機初期設定異常	×
7138		室外機誤設置	空調機初期設定異常	×

●空調機内の点検は、必ず空調機の電源を切ってから行ってください。
●チェックポイントの内容は、考えられる故障原因および遠隔リセットの可否を示しています。チェックポイントに従ってお調べになったうえで、動作不良の場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ワーニング画面表示の確認

ワーニング発生時、操作パネルはワーニング画面に遷移します。下表を参照して表示されているワーニングコード、チェックポイントを確認してください。

【ワーニングコード一覧】

詳細コード		ワーニング画面表示
INV側	定速側	
I1ＸＸ	T1ＸＸ	吐出圧力垂下制御中
I2ＸＸ	T2ＸＸ	吸入圧力垂下制御中
I3ＸＸ	T3ＸＸ	吐出管温度垂下制御中
I9ＸＸ	T9ＸＸ	センサー補完運転中
IAＸＸ	TAＸＸ	リトライ運転中
IBＸＸ		制御矛盾
ICＸＸ		多点センサ位置不適

●ワーニングは故障ではありません。異常停止せず、運転を継続します。
●チェックポイントの内容は、考えられる故障原因および遠隔リセットの可否を示しています。

次の場合は故障ではありません。

音がする

●運転中や停止時に「シュルシュル」などと、運転条件等により音の長さや大きさが異なる音が出る場合がありますがこれはエアコン内部の冷媒が流れ運転が安定してくるとなくなる通常運転の冷媒音ですので問題ありません。安心してご使用ください。

上記確認をしたあとになお異常がある場合には、直ちに電源を切ってお近くのサービス窓口にご相談ください。

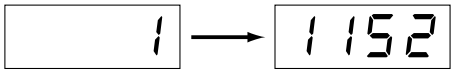
■サービスLED による故障判定

室内ユニット制御基板の自己診断スイッチ（SW1）とサービスLEDにより故障判定ができます。

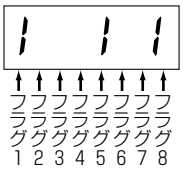
【サービスLEDの表示方法】

サービスLED（LD1）

・エラーコード表示の場合
発生アドレスとエラーコードを交互に表示
例　室内ユニットアドレス1、
吐出温度異常（コード1152）のとき



・フラグ表示の場合
例　圧縮機運転、SV3　ONのとき



【自己診断スイッチ(SW1)の設定とサービスLED(LD1)の表示内容】

■INV側

No	SW1	項　目	表示								備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
0	0000000000	ゾーンNo.、号機	ゾーンNo.（1桁）ー号機（2桁）								
		点検表示（OC含む）	0000～9999（アドレスとエラーコード反転）								
1	1000000000	リレー出力表示1	COMP運転中	クランクケースヒータ	SV1		SV3			常時点灯	
2	0100000000	上位通信	劣化診断	保護制御	警報運転					センサ補完中	
3	1100000000										
4	0010000000										
5	1010000000	手元スイッチ	遠方	手元		運転	停止			試運転	
6	0110000000	外部信号［入力中の信号］			スノーセンサー						
7	1110000000	運転表示			3分再起動	圧縮機運転中	異常猶予中	異常			
8	0001000000	機外静圧テーブル	60	120	180	240	300				
9	1001000000	制御モード	定時制御	停止	サーモOFF	異常停止		冷媒回収	凍結防止		
10	0101000000	異常猶予中	高圧異常1,2	低圧異常低圧異常1	吐出温度異常	過電流保護		過電流遮断	INV異常	冷媒過充填	
11	1101000000				室内ファンコン異常	室内インナサーモ異常					
12	0011000000		TH1i異常			TH5i異常	TH6異常	TH7i異常	TH8i異常		
13	1011000000		TH41異常	TH21異常	TH22i異常	TH23i異常	TH24異常	THHS異常			
14	0111000000		HPSi異常	LPSi異常	FS異常					TH42異常	
15	1111000000	異常猶予履歴	高圧異常1,2	低圧異常低圧異常1	吐出温度異常	過電流保護		過電流遮断		冷媒過充填	
16	0000100000				室内ファンコン異常	室内インナサーモ異常					
17	1000100000		TH1i異常			TH5i異常	TH6異常	TH7i異常	TH8i異常	TH10i異常	
18	0100100000		TH41異常	TH21異常	TH22i異常	TH23i異常	TH24異常	THHS異常			
19	1100100000		HPSi異常	LPSi異常	FS異常					TH42異常	
20	0010100000	TH41データ	ー99.9～999.9								

■INV側

No	SW1	項　目	表　示								備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
21	1010100000	異常履歴	0000～9999								
22	0110100000	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細（1～9）								
23	1110100000	異常履歴 2	0000～9999								
24	0001100000	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細（1～9）								
25	1001100000	異常履歴 3	0000～9999								
26	0101100000	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細（1～9）								
27	1101100000	異常履歴 4	0000～9999								
28	0011100000	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細（1～9）								
29	1011100000	異常履歴 5	0000～9999								
30	0111100000	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細（1～9）								
31	1111100000	異常履歴 6	0000～9999								
32	0000010000	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細（1～9）								
33	1000010000	異常履歴 7	0000～9999								
34	0100010000	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細（1～9）								
35	1100010000	異常履歴 8	0000～9999								
36	0010010000	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細（1～9）								
37	1010010000	異常履歴 9	0000～9999								
38	0110010000	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細（1～9）								
39	1110010000	異常履歴10	0000～9999								
40	0001010000	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常詳細（1～9）								
41	1001010000	ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常猶予の種類 (No.12のｲﾝﾊﾞｰﾀ異常の詳細)	0000～9999								
42	0101010000	TH31データ	－99.9～999.9								
43	1101010000	TH1iデータ	↑								
44	0011010000	TH32データ	↑								
45	1011010000	TH33データ	↑								
46	0111010000	TH5iデータ	↑								
47	1111010000	TH6データ	↑								
48	0000110000	TH7iデータ	↑								
49	1000110000	TH8iデータ	↑								
50	0100110000	TH34データ	↑								
51	1100110000	TH35データ	↑								
52	0010110000	TH21データ	↑								
53	1010110000	TH22iデータ	↑								

■INV側

No	SW1	項　目	表示								備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
54	0110110000	TH23iデータ	−99.9〜999.9								
55	1110110000	TH24データ	↑								
56	0001110000	THHSデータ	↑								
57	1001110000	HPSiデータ	↑								
58	0101110000	LPSiデータ	↑								
59	1101110000	TH42データ	↑								
60	0011110000	Hz増減	△Hz ＋	−	△Hz −	−	0〜99				
61	1011110000	AK増減	△AK ＋	−	△AK −	−	0〜99				
62	0111110000	BK増減	△BK ＋	−	△BK −	−	0〜99				
63	1111110000	目標Tcとの差（Tcm−Tc）	低い -3K 以下	低い -3〜-2 K	低い -2〜-1 K	安定域		高い 1〜2 K	高い 2〜3 K	高い 3K 以上	
64	0000001000	目標Teとの差（Tem−Te）	低い -3K 以下	低い -3〜-2 K	低い -2〜-1 K	安定域		高い 1〜2 K	高い 2〜3 K	高い 3K 以上	
65	1000001000	Tc	−99.9〜999.9								
66	0100001000	Te	↑								
67	1100001000	Tcm	0〜9999								
68	0010001000	Tem	↑								
69	1010001000	Tc＊	↑								
70	0110001000	Te＊	↑								
71	1110001000	周波数	↑								
72	0001001000	INV出力周波数	↑								
73	1001001000	AK	↑								
74	0101001000	BK	↑								
75	1101001000	TH36データ	−99.9〜999.9								
76	0011001000	LEV1i	0〜9999								
77	1011001000	LEV2i	↑								
78	0111001000										
79	1111001000	室内ﾌｧﾝｲﾝﾊﾞｰﾀ周波数	0〜9999								
80	0000101000	直流母線電流	−99.9〜999.9								
81	1000101000	SHB	↑								
82	0100101000	SCO	↑								
83	1100101000	SCC	↑								
84	0010101000	△SC	↑								
85	1010101000	室内ユニットSH	↑								

■INV側

No	SW1	項　目	表　示								備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
86	0110101000	AL	0～9999								
87	1110101000	OCアドレス	↑								
88	0001101000	ICアドレス	↑								
89	1001101000	COMP運転時間上４ｹﾀ	↑								
90	0101101000	下４ｹﾀ	↑								
91	1101101000	劣化診断	圧縮機劣化	膨張弁劣化	冷却能力劣化	室外熱交汚れ	ﾌｨﾙﾀ汚れ				
92	0011101000	保護制御	吐出圧力垂下	吸入圧力垂下	吐出管温度垂下				多点ｾﾝｻ位置不適		
93	1011101000	警報運転	ｻｰﾐｽﾀ補完	ﾘﾄﾗｲ運転	冷媒不足運転						
94	0111101000	運転パターン風量設定	通常	エンジン	バッテリー	吹出優先	吸込優先	通常	最低風量設定	風量固定	
95	1111101000	設定温度	吹出設定温度	―	吸込設定温度	―	0～99				
96	0000011000	MTTR上４ｹﾀ	0～9999								
97	1000011000	下４ｹﾀ	↑								
98	0100011000	補完中ｻｰﾐｽﾀ表示				TH5	TH6	TH7	TH8		
99	1100011000			TH21	TH22	TH23	TH24	THHS		TH42	
100	0010011000	TH1iデータ	－99.9～999.9								センサ補完中のサーミスタは、補完していない実測値を表示。
101	1010011000	TH31データ	↑								
102	0110011000	TH32データ	↑								
103	1110011000	TH5iデータ	↑								
104	0001011000	TH6データ	↑								
105	1001011000	TH7iデータ	↑								
106	0101011000	TH8iデータ	↑								
107	1101011000	TH33データ	↑								
108	0011011000	TH34データ	↑								
109	1011011000	TH21データ	↑								
110	0111011000	TH22iデータ	↑								
111	1111011000	TH23iデータ	↑								
112	0000111000	TH24データ	↑								
113	1000111000	THHSデータ	↑								
114	0100111000	TH35データ	↑								
115	1100111000	TH36データ	↑								
116	0010111000	TH41データ	↑								
117	1010111000	TH42データ	↑								
118	0110111000										
119	1110111000										

■INV側　No120～163は異常停止した際、サービス用メモリに格納されている異常停止直前のデータを表示する。

No	SW1	項　目	表　示								備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
120	0001111000	制御モード	定時制御	停止	サーモOFF	異常停止			凍結防止		
121	1001111000	ﾘﾚｰ出力表示1	COMP運転中	クランクケースヒータ	SV1		SV3			定時点灯	
122	0101111000	TH1iデータ	－99.9～999.9								
123	1101111000										
124	0011111000										
125	1011111000	TH5iデータ	－99.9～999.9								
126	0111111000	TH6データ	↑								
127	1111111000	TH7iデータ	↑								
128	0000000100	TH8iデータ	↑								
129	1000000100		↑								
130	0100000100										
131	1100000100	TH21データ	－99.9～999.9								
132	0010000100	TH22iデータ	↑								
133	1010000100	TH23iデータ	↑								
134	0110000100	TH24データ	↑								
135	1110000100	THHSデータ	↑								
136	0001000100	HPSiデータ	↑								
137	1001000100	LPSiデータ	↑								
138	0101000100	Tc	↑								
139	1101000100	Te	↑								
140	0011000100	周波数	0～9999								
141	1011000100	INV出力周波数	↑								
142	0111000100	AK	↑								
143	1111000100	BK	↑								
144	0000100100										
145	1000100100	LEV1i	0～9999								
146	0100100100	LEV2i	↑								
147	1100100100										
148	0010100100	室内ﾌｧﾝｲﾝﾊﾞｰﾀ周波数	0～9999								
149	1010100100	直流母線電流	－99.9～999.9								
150	0110100100	SHB	↑								
151	110100100	SCO	↑								
152	0001100100	SCC	↑								
153	1001100100	△SC	↑								

■**INV側**　No120～163は異常停止した際、サービス用メモリに格納されている異常停止直前のデータを表示する。

No	SW1	項　目	表示								備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
154	0101100100	室内ユニットSH	ー99.9～999.9								
155	1101100100										
156	0011100100	運転表示		拘束 通電中	3分 再起動	圧縮機 運転中	異常 猶予中	異常			
157	1011100100	劣化診断	圧縮機 劣化	膨張弁 劣化	冷却能 力劣化	室外熱 交汚れ	ﾌｨﾙﾀ 汚れ				
158	0111100100	保護制御	吐出圧 力垂下	吸入圧 力垂下	吐出管 温度垂下				多点ｾﾝｻ 位置不適		
159	1111100100	警報運転	ｻｰﾐｽﾀ 補完	ﾘﾄﾗｲ 運転	冷媒不 足運転						
160	0000010100	運転パターン 風量設定	通常	エン ジン	バッテ リー	吹出 優先	吸込 優先	通常	最低風 量設定	風量 固定	
161	1000010100	設定温度	吹出設 定温度	ー	吸込設 定温度	ー	0～99				
162	0100010100										
163	1100010100										
164	0010010100	TH31データ	ー99.9～999.9								
165	1010010100	TH32データ	↑								
166	0110010100	TH33データ	↑								
167	1110010100	TH34データ	↑								
168	0001010100	TH35データ	↑								
169	1001010100	TH36データ	↑								
170	0101010100	TH41データ	↑								
171	1101010100	TH42データ	↑								
172	0011010100										
173	1011010100										
174	0111010100										
175	1111010100										
176	0000110100										
177	1000110100										
178	0100110100										
179	1100110100										
180	0010110100										
181	1010110100										
182	0110110100										
183	1110110100										
184	0001110100										
185	1001110100										
186	0101110100										

■定速側

No	SW	項　目	表示								備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
512	0000000001	ゾーンNo.、号機	ゾーンNo.（1桁）ー号機（2桁）								
		点検表示（OC含む）	0～9999（アドレスとエラーコード反転）								
513	1000000001	定速機側リレー出力表示1	定速圧縮機運転中	クランクケースヒータ	SV1t		SV3t			常時点灯	
514	0100000001	定速機側上位通信	劣化診断	保護制御	警報運転					センサ補完中	
515	1100000001										
516	0010000001										
517	1010000001	手元スイッチ	遠方	手元		運転	停止			試運転	
518	0110000001	外部信号［入力中の信号］			スノーセンサー						
519	1110000001	定速機側運転表示			3分再起動	圧縮機運転中	異常猶予中	異常			
520	0001000001	機外静圧テーブル	60	120	180	240	600				
521	1001000001	定速機側制御モード	定時制御	停止	サーモOFF	異常停止			凍結防止		
522	0101000001	定速機側異常猶予中	高圧異常	低圧異常	吐出温度異常			過電流遮断		冷媒過充填	
523	1101000001				室内ファンコン異常	室内インナサーモ異常					
524	0011000001		TH1t異常			TH5t異常	TH6異常	TH7t異常	TH8t異常		
525	1011000001			TH21異常	TH22t異常	TH23t異常	TH24異常				
526	0111000001		63HSt異常	63LSt異常	FS異常						
527	1111000001	定速機側異常猶予履歴	高圧異常	低圧異常	吐出温度異常			過電流遮断		冷媒過充填	
528	0000100001				室内ファンコン異常	室内インナサーモ異常					
529	1000100001		TH1t異常			TH5t異常	TH6異常	TH7t異常	TH8t異常		
530	0100100001			TH21異常	TH22t異常	TH23t異常	TH24異常				
531	1100100001		63HSt異常	63LSt異常	FS異常						
532	0010100001	定速圧縮機ON回数	0～9999								

■定速側

No	SW	項　目	表　示								備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
533	1010100001										
534	0110100001										
535	1110100001										
536	0001100001										
537	1001100001										
538	0101100001										
539	1101100001										
540	0011100001										
541	1011100001										
542	0111100001										
543	1111100001										
544	0000010001										
545	1000010001										
546	0100010001										
547	1100010001										
548	0010010001										
549	1010010001										
550	0110010001										
551	1110010001										
552	0001010001										
553	1001010001										
554	0101010001										
555	1101010001	TH1tデータ	−99.9〜999.9								
556	0011010001										
557	1011010001										
558	0111010001	TH5tデータ	−99.9〜999.9								
559	1111010001	TH6データ	↑								
560	0000110001	TH7tデータ	↑								
561	1000110001	TH8tデータ	↑								
562	0100110001		↑								
563	1100110001										
564	0010110001	TH21データ	−99.9〜999.9								
565	1010110001	TH22tデータ	↑								

■定速側

No	SW	項　目	表　示								備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
566	0110110001	TH23tデータ	−99.9～999.9								
567	1110110001	TH24データ	↑								
568	0001110001										
569	1001110001	63HStデータ	−99.9～999.9								
570	0101110001	63LStデータ	↑								
571	1101110001										
572	0011110001										
573	1011110001										
574	0111110001										
575	1111110001										
576	0000001001										
577	1000001001	Tc	−99.9～999.9								
578	0100001001	Te	↑								
579	1100001001										
580	0010001001										
581	1010001001										
582	0110001001										
583	1110001001										
584	0001001001										
585	1001001001	AKt	0～9999								
586	0101001001	BK	↑								
587	1101001001										
588	0011001001	LEV1t	0～9999								
589	1011001001	LEV2t	↑								
590	0111001001										
591	1111001001	室内ﾌｧﾝｲﾝﾊﾞｰﾀ周波数	0～9999								
592	0000101001										
593	1000101001	SHBt	−99.9～999.9								
594	0100101001	SCOt	↑								
595	1100101001	SCCt	↑								
596	0010101001	△SCt	↑								
597	1010101001	室内ユニットSHt	↑								

■定速側

No	SW	項　目	表　示								備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
598	0110101001	AL	0～9999								
599	1110101001	OCアドレス	↑								
600	0001101001	ICアドレス	↑								
601	1001101001	定速COMP運転時間上4ｹﾀ	↑								
602	0101101001	下4ｹﾀ	↑								
603	1101101001	定速機側 劣化診断	圧縮機 劣化	膨張弁 劣化	冷却能 力劣化	室外熱 交汚れ	ﾌｨﾙﾀ 汚れ				
604	0011101001	定速機側 保護制御	吐出圧 力垂下	吸入圧 力垂下	吐出管 温度垂下						
605	1011101001	定速機側 警報運転	ｻｰﾐｽﾀ 補完	ﾘﾄﾗｲ 運転	冷媒不 足運転						
606	0111101001	運転パターン 風量設定	通常	エン ジン	バッテ リー	吹出 優先	吸込 優先	通常	最低風 量設定	風量 固定	
607	1111101001	設定温度	吹出設 定温度	―	吸込設 定温度	―	0～99				
608	0000011001	MTTR上4ｹﾀ	0～9999								
609	1000011001	下4ｹﾀ	↑								
610	0100011001	定速機側 補完中ｻｰﾐｽﾀ表示				TH5	TH6	TH7	TH8		
611	1100011001			TH21	TH22	TH23	TH24				
612	0010011001	TH1tデータ	−99.9～999.9								センサ補完中のサーミスタは、補完していない実測値を表示。
613	1010011001										
614	0110011001										
615	1110011001	TH5tデータ	−99.9～999.9								
616	0001011001	TH6tデータ	↑								
617	1001011001	TH7tデータ	↑								
618	0101011001	TH8tデータ	↑								
619	1101011001										
620	0011011001										
621	1011011001	TH21データ	−99.9～999.9								
622	0111011001	TH22tデータ	↑								
623	1111011001	TH23tデータ	↑								
624	0000111001	TH24データ	↑								
625	1000111001										
626	0100111001										
627	1100111001										
628	0010111001										
629	1010111001										
630	0110111001										
631	1110111001										

■定速側　No632～673は異常停止した際、サービス用メモリに格納されている異常停止直前のデータを表示する。

No	SW	項　目	表示								備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
632	0001111001	定速機側 制御モード	定時 制御	停止	サーモ OFF	異常 停止			凍結 防止		
633	1001111001	定速機側 ﾘﾚｰ出力表示1	定速 COMP 運転中	クランク ケース ヒータ	SV1		SV3			常時 点灯	
634	0101111001	TH1tデータ	－99.9～999.9								
635	1101111001										
636	0011111001										
637	1011111001	TH5tデータ	－99.9～999.9								
638	0111111001	TH6tデータ	↑								
639	1111111001	TH7tデータ	↑								
640	0000000101	TH8tデータ	↑								
641	1000000101		↑								
642	0100000101										
643	1100000101	TH21データ	－99.9～999.9								
644	0010000101	TH22tデータ	↑								
645	1010000101	TH23tデータ	↑								
646	0110000101	TH24データ	↑								
647	1110000101										
648	0001000101	63HStデータ	－99.9～999.9								
649	1001000101	63LStデータ	↑								
650	0101000101	Tc	↑								
651	1101000101	Te	↑								
652	0011000101										
653	1011000101										
654	0111000101	AKt	0～9999								
655	1111000101	BK	↑								
656	0000100101										
657	1000100101	LEV1t	0～9999								
658	0100100101	LEV2t	↑								
659	1100100101										
660	0010100101										
661	1010100101										
662	0110100101	SHBt	－99.9～999.9								
663	1110100101	SCOt	↑								
664	0001100101	SCCt	↑								
665	1001100101	△SCt	↑								

■定速側　No632～673は異常停止した際、サービス用メモリに格納されている異常停止直前のデータを表示する。

No	SW	項　目	表示								備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
666	0101100101	室内ユニットSHt	↑								
667	1101100101		0～9999								
668	0011100101	定速機側 運転表示			3分 再起動	圧縮機 運転中	異常 猶予中	異常			
669	1011100101	定速機側 劣化診断	圧縮機 劣化	膨張弁 劣化	冷却能 力劣化	室外熱 交汚れ	ﾌｨﾙﾀ 汚れ				
670	0111100101	定速機側 保護制御	吐出圧 力垂下	吸入圧 力垂下	吐出管 温度垂下						
671	1111100101	定速機側 警報運転	ｻｰﾐｽﾀ 補完	ﾘﾄﾗｲ 運転	冷媒不 足運転						
672	0000010101	運転パターン 風量設定	通常	エン ジン	バッテ リー	吹出 優先	吸込 優先	通常	最低風 量設定	風量 固定	
673	1000010101	設定温度	吹出設 定温度	ー	吸込設 定温度	ー	0～99				
674	0100010101										
675	1100010101										
676	0010010101										
677	1010010101										
678	0110010101										
679	1110010101										
680	0001010101										
681	1001010101										
682	0101010101										
683	1101010101										
684	0011010101										
685	1011010101										
686	0111010101										
687	1111010101										
688	0000110101										
689	1000110101										
690	0100110101										
691	1100110101										
692	0010110101										
693	1010110101										
694	0110110101										
695	1110110101										
696	0001110101										
697	1001110101										
698	0101110101										

6．仕　　様

機種名				室内ユニット	室外ユニット
機種形名				PADY−P450NMT−E	PVDY−P450NM−E(-BS,-BSG)
形式				空冷式	
顕熱能力 ※1			kW	45.0	
消費電力 ※1			kW	15.9	
電流　※1			A	49.5	
室内ユニット	電　源			3相　200V　50／60Hz	
	外　装			マンセル　5Y8／1	
	外　形　寸　法	高さ×幅×奥行	mm	1980×1795×900	
	圧　縮　機	形式		全密閉式スクロール形　×2	
	室内側熱交換器			クロスフィンコイル式　×2	
	送　風　機	形式		シロッコファン　×2	
		制御		インバーター	
		風量（50/60Hz）	m^3/min	135〜270	
		機外静圧（最大）	Pa	120（300）	
		駆動方式		ダイレクト駆動	
	接　続　配　管	液管		φ12.7　C1220T　×2	
		ガス管		φ19.05　C1220T　×2	
		ドレン口（メイン）		Rc1	
		ドレン口（エマージェンシー）		Rc3/4	
室外ユニット	電源			3相　200V　50／60Hz（室内ユニットより供給）	
	外　装			マンセル　5Y8／1	
	外　形　寸　法	高さ×幅×奥行	mm	1835×1800×900	
	室外側熱交換器			クロスフィンコイル式	
	送　風　機	形式		プロペラファン　×2	
		風量（50/60Hz）	m^3/min	264	
		駆動方式		ダイレクト駆動	
	接　続　配　管	液管		φ12.7　C1220T　×2	
		ガス管		φ19.05　C1220T　×2	
保護装置 高圧／圧縮機／送風機／インバーター				圧力センサー、高圧圧力開閉器／過電流保護、 過昇保護／過電流保護、熱動過電流継電器／直流母線電流、 過昇保護	
容量制御				圧縮機回転数制御	
冷媒制御				電子膨張弁	
冷媒配管	標準長さ		m	5	
	最大長さ		m	実配管長160	
	最大高低差		m	40	
冷　媒	冷媒名			R410A	
	充てん量（INV側／定速側）　※2		kg	13.5／12.5	
冷凍機油	冷媒機油			MEL32	
	充てん量（INV側／定速側）		ℓ	3／3	
法定冷凍ﾄﾝ(50/60Hz)				INV側:1.74+定速側:2.24／INV側:1.48+定速側:2.69	

※1.室内側吸込空気温度27.0℃DB/19.0℃WB、室外側吸込空気温度35.0℃DB
　冷媒配管長5mで運転した場合の値です。
※2.工場出荷時、機器には配管長5m相当の冷媒を充てんしています。
　配管長が5m以上の場合は、下式に従った冷媒量を追加充てんしてください。（最大160m）
　追加冷媒量＝（全配管長−5）×0.09 (kg)

お願い

使用温湿度の範囲から外れたところで使用しますと、重大な故障の原因になります。
使用温湿度範囲：室外吸込乾球温度−15〜43℃,室内吸込湿球温度12〜24℃

【室内ユニット主要部品構成表】

分　類	部品名	素　材
主　骨	台枠	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板　3.2T エポキシ樹脂塗装　黒色
	柱	溶融亜鉛メッキ鋼板　3.2T
外　装	パネル	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板　1.0T または 1,2T 粉体塗装
インバーター圧縮機	圧縮機(全密閉式スクロール形)	―――
定速圧縮機		
送風機	ファン (両吸込形シロッコファン、電動機直結式)	溶融亜鉛メッキ鋼板　0.8T
	ケーシング	溶融亜鉛メッキ鋼板　1.2T
電動機	モーター (3相200V 6極)	フレーム　AC2A
		シャフト　S35C
熱交換器	チューブ	C1220T　φ9.52×0.3T
	フィン	アルミ（アクリル樹脂コーティング）
	ヘッダー	C1220T　φ25.4×1.2T
	側　板	溶融亜鉛メッキ鋼板　1.2T
ドレンパン	蒸発器用ドレンパン	SUS304　1.2T
	エマージェンシードレンパン	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板　1.2T エポキシ樹脂塗装　黒色
フィルター	フィルター	PPハニカム
機内配管	冷媒配管	りん脱酸銅継目無管
断熱材	断熱材	ポリエチレンフォーム

【室外ユニット主要部品構成表】

分類	部品名	素　　材	表面処理	標準	耐塩害(-BS)	耐重塩害(-BSG)
主骨	シタワク	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 3.2T	粉体塗装	○	○	○
外装	パネル	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 1.0T	薄膜粉体塗装	○	—	—
			粉体塗装	—	○	○
送風機	プロペラファン	樹脂（AS）	—	○	○	○
	ガード	鉄線	PEコーティング	○	○	○
	ドラム	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 1.0T	粉体塗装	○	○	○
電動機	モーター	フレーム：アルミダイキャスト	—	○	○	○
	（三相200V 8極）	シャフト：S45C	クリアーラッカー（青ニス入り）	○	○	○
熱交換器	チューブ	銅 φ9.52×0.41T	—	○	—	—
			アミノアルキド樹脂	—	○	○
	フィン	アルミニウム 0.1T (プレコート材)	セルロース系+ウレタン系樹脂	○	—	—
			セルロース系+ウレタン系樹脂+アミノアルキド樹脂	—	○	○
	ヘッダー	銅 φ22.2 ,φ19.05	—	○	○	○
	側板	溶融アルミ・亜鉛合金メッキ鋼板1.2T	—	○	—	—
		溶融亜鉛メッキ鋼板 1.2T	アミノアルキド樹脂	—	○	○
制御箱	制御箱外装	溶融亜鉛メッキ鋼板 1.0T	—	○	○	—
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 1.0T	粉体塗装	—	—	○
機内配管	冷媒配管	りん脱酸銅継目無管	—	○	○	○
その他	配管ロウ付	リンドウロウ	—	○	○	○
	ネジ	ネジ用鋼材	亜鉛-ニッケル合金メッキ+ジオメット処理	○	○	○

7．保証とアフターサービス

保証書（別添付）

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間は

■エアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後、9年間です。この期間は、経済産業省の指導によるものです。
■性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

■「故障かな？」と思ったら（31ページ）に従ってお調べください。

・なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず制御盤側の漏電遮断器を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
■修理料金は
○技術料＋部品代（出張料）などで構成されています。

【ご連絡いただきたい内容】

1．品　名
2．形　名
3．お買い上げ日
4．故障の状況　　できるだけ詳しく（リモコンのエラー表示記号など）
5.ご住所　　付近の目印なども
6.お名前・電話番号

製品の形名・製造番号は、本体に貼付してある製品名板にも記載されています。
サービスマンがお伺いした折には、必ず保証書をお示し願います。

アフターサービスご契約のおすすめ

■当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行うことができます。

様式1　冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）　　年　月　日 ～　年　月　日

管理番号	

施設所有者						設備製造者			
施設名称			系統名			設置年月日			
施設所在地			電話			使用機器	型式		製品区分
運転管理責任者			電話				製番		設置方式 現地施工
点検事業者	会社名		責任者				用途	空調用	検知装置
	所在地		電話			冷媒量（kg）	合計充填量	合計回収量	合計排出量 排出係数（%）
使用冷媒	R410A	初期充填量（kg）		点検周期	基準	実績（月）			

作業年月日	点検理由	充填量（kg）	回収量（kg）	監視・検知手段（最終）	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	ﾁｪｯｸﾘｽﾄNo.	確認者

企画開発　　株式会社 NTTファシリティーズ

設計・製造　三菱電機株式会社

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA:社団法人 日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14 について、http://www.jraia.or.jp/info/gl-14/
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/business/cfc_leak/

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後９年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか？

- ●運転音が異常に大きくなる。
- ●室内ユニットから水が漏れる。
- ●電源が頻繁に落ちる。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止　故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくと便利です。	
お買い上げ店名	電話
お買い上げ(据付)日	年　月　日

三菱電機株式会社

本社　〒100-8310　東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
冷熱システム製作所　〒640-8686　和歌山市手平6-5-66

WT06209X03